

# 山梨市住民意向調査 報告書

平成 27 年 3 月



公益財団法人 山梨総合研究所

## 目 次

<b>1. 調査概要</b> .....	<b>1</b>
① 調査の目的.....	1
② 調査時期.....	1
③ 調査対象.....	1
④ 調査方法.....	1
⑤ アンケート内容.....	1
⑥ 回収結果.....	2
⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について.....	2
<b>2. 回答者の属性（SA）</b> .....	<b>3</b>
① 性別.....	3
② 年齢.....	4
③ 居住地区.....	5
④ 居住年数.....	6
⑤ 家族構成.....	7
⑥ 職業.....	8
⑦ 通勤・通学先 .....	9
<b>3. 山梨市の魅力・住みやすさについて</b> .....	<b>10</b>
① 山梨市の魅力 .....	10
② 山梨市の住みやすさ .....	11
③ 山梨市に対する愛着 .....	12
<b>4. 満足度、今後の施策の重要度について</b> .....	<b>13</b>
<b>5. 分野ごとの各施策の必要性について</b> .....	<b>15</b>
① 環境問題やエネルギー問題に対応するための取り組み.....	15
② 産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するための取り組み.....	16
③ 観光を盛んにするための取り組み.....	18
④ 高齢化が進む社会に対応するための取り組み.....	19
⑤ 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための取り組み.....	22
⑥ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み .....	25
⑦ 学校教育・生涯学習分野での取り組み .....	26
<b>6. 市民と行政とのあり方について</b> .....	<b>27</b>
① 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について.....	27
② 今後参加したい公共的な活動.....	28

7. 今後の公共施設のあり方について .....	32
8. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて .....	33
9. まちづくり指標について .....	34
10. 男女共同参画について .....	35
11. 地区公民館を多くの方に利用していただくための利用状況について .....	37
① 地区公民館事業への参加状況 .....	37
② サークル活動や会議などでの地区公民館施設（部屋）の利用状況 .....	38
③ 地区公民館施設（部屋）の利用頻度 .....	39
④ 地区公民館事業に参加しない・地区公民館施設（部屋）を利用しない理由 .....	40
12. 防災について .....	41
13. 人口減少に対する施策について .....	42
14. アンケート調査票 .....	43

## 1. 調査概要

### ① 調査の目的

山梨市の主な施策に対する、市民の満足度や必要度を把握し、住民のニーズに対応した施策を推進するための基礎資料とする。併せて、総合計画に示されたまちづくり指標についても確認する。

### ② 調査時期

アンケート期間：平成 27 年 1 月 24 日(土)～2 月 9 日(月)

また、記入に際しての基準日は平成 27 年 2 月 1 日とした。

### ③ 調査対象

20 歳以上の市民 2,000 人を対象とした。

標本抽出方法としては、市域を旧市町村 3 区域に分け、母集団の大きさに応じて住民基本台帳から層化無作為抽出を行った。

### ④ 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

### ⑤ アンケート内容

大項目	小項目	対応設問	設問数
山梨市の魅力・ 住みやすさ	山梨市の魅力	問 1	1 5
	山梨市の住みやすさ	問 2	1
	山梨市に対する愛着	問 3	1
満足度・重要度	施策に対する満足度と今後の重要度の認識	問 4	各 2 6
分野ごとの各施策の 必要性	環境エネルギー分野	問 5	8
	産業（農林業・商業・工業・観光業）分野	問 6	1 1
	観光分野	問 7	8
	高齢者福祉分野	問 8	1 0
	次世代育成（子育て）分野	問 9	7
	防災分野	問 1 0	1 0
	学校教育・生涯学習分野	問 1 1	1 1
市民と行政のあり方	行財政改革・現在の行政サービスの水準と負担	問 1 2	5
	今後参加したい公共的活動	問 1 4	1
公共施設のあり方	今後の公共施設のあり方	問 1 3	1
山梨市の将来像と望 ましい地域イメージ	10 年後の山梨市について	問 1 5	1
まちづくり指標	総合計画に示すまちづくり指標について	問 1 6	1 2
男女共同参画の実現	男女共同参画の認知度、状況について	問 1 7	9
地区公民館の利用状 況	地区公民館事業への参加状況	問 1 8-1	1
	地区公民館の利用状況	問 1 8-2	1
	地区公民館事業への参加・利用頻度	問 1 8-3	1
	地区公民館を参加・利用しない理由	問 1 8-4	1
防災	気象情報・防災情報を得る手段	問 1 9	1
人口減少	人口減少対策に必要な取り組み	問 2 0	1
自由記述	①まちづくりや行政運営に関する意見や要望	問 2 1	1
	②ご自身で「できること」「やってみたいこと」	問 2 1-1	1

## ⑥ 回収結果

送付数：2,000

有効回収数：1,257

有効回収率：62.9%

## ⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について

(SA) …… 単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は1項目のみ。

(MA) …… 複数回答 (Multi Answer) の略。

(一部回答を限定しているものもある。)

複数回答における回答率は100%を超える場合があります。

n …… 回答者数 (number) をあらわす。「n=100」は、回答者数が100人ということ。

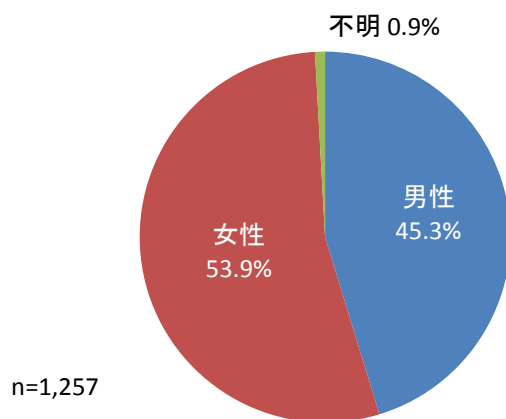
※ 各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もあります。

## 2. 回答者の属性（SA）

### ① 性別

今回のアンケート調査で回答が得られた1,257人のうち、「男性」は45.3%、「女性」は53.9%であった。

F1:性別(SA)

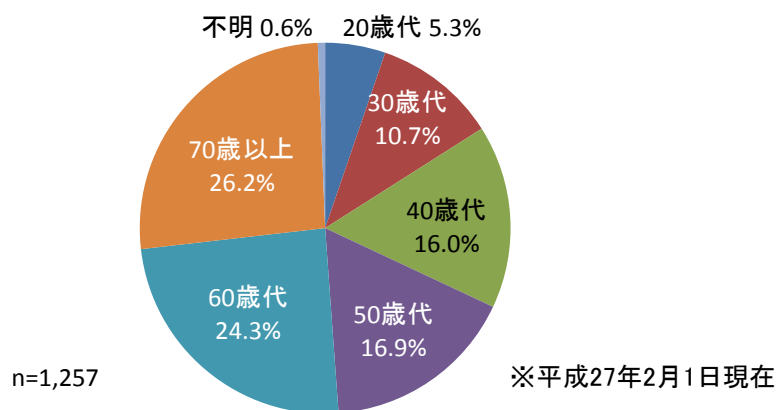


カテゴリ	件	%
男性	569	45.3%
女性	677	53.9%
不明	11	0.9%
計	1,257	100.0%

## ② 年齢

今回のアンケート調査に回答した市民の年齢構成は、「70歳以上」が26.2%と最も多く、以下「60歳代」が24.3%、「50歳代」が16.9%、「40歳代」が16.0%、「20歳代」は5.3%と低い割合であった。

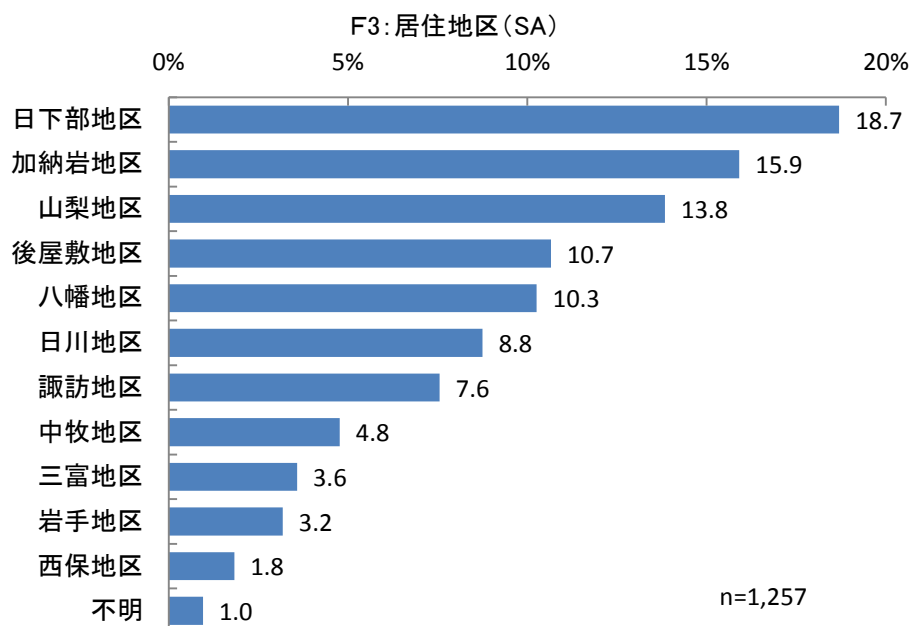
F2: 年齢 (SA)



カテゴリ	件	%
20歳代	66	5.3%
30歳代	135	10.7%
40歳代	201	16.0%
50歳代	212	16.9%
60歳代	306	24.3%
70歳以上	329	26.2%
不明	8	0.6%
計	1,257	100.0%

### ③ 居住地区

今回のアンケート調査に回答した市民の居住地の割合は、「日下部地区」が 18.7%と最も多く、以下「加納岩地区」が 15.9%、「山梨地区」が 13.8%、「後屋敷地区」が 10.7%、「八幡地区」が 10.3%であった。



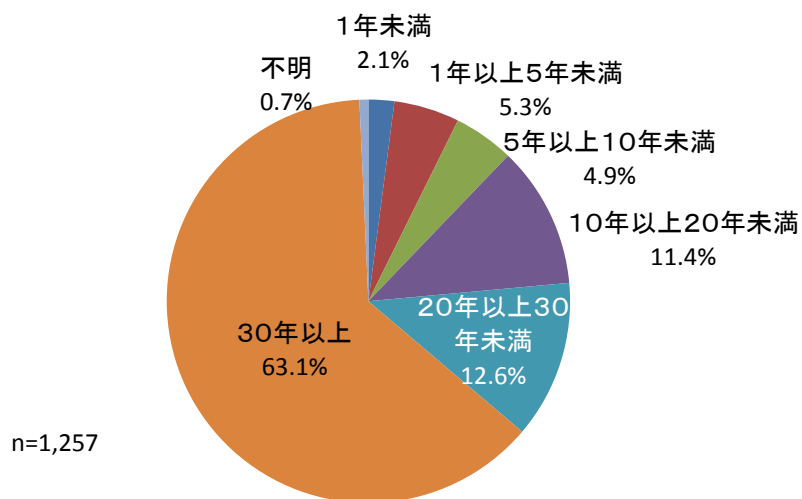
カテゴリ	件	%
日下部地区	235	18.7
加納岩地区	200	15.9
山梨地区	174	13.8
後屋敷地区	134	10.7
八幡地区	129	10.3
日川地区	110	8.8
諏訪地区	95	7.6
中牧地区	60	4.8
三富地区	45	3.6
岩手地区	40	3.2
西保地区	23	1.8
不明	12	1.0
計	1,257	100.0



#### ④ 居住年数

今回のアンケート調査に回答者した市民の本市への居住年数は、「30年以上」が最も多く、63.1%であった。以下「20年以上30年未満」が12.6%、「10年以上20年未満」が11.4%であった。居住年数が10年以上の回答者が87.1%を占めている。

F4: 居住年数(SA)

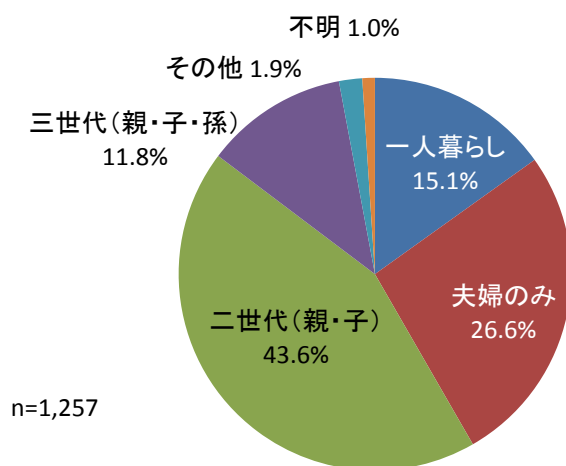


カテゴリ	件	%
1年未満	26	2.1%
1年以上5年未満	66	5.3%
5年以上10年未満	61	4.9%
10年以上20年未満	143	11.4%
20年以上30年未満	159	12.6%
30年以上	793	63.1%
不明	9	0.7%
計	1,257	100.0%

## ⑤ 家族構成

今回のアンケート調査に回答した市民の家族構成は、「二世代（親・子）」が最も多く 43.6%であった。以下「夫婦のみ」が 26.6%、「一人暮らし」が 15.1%、「三世代（親・子・孫）」が 11.8%であった。

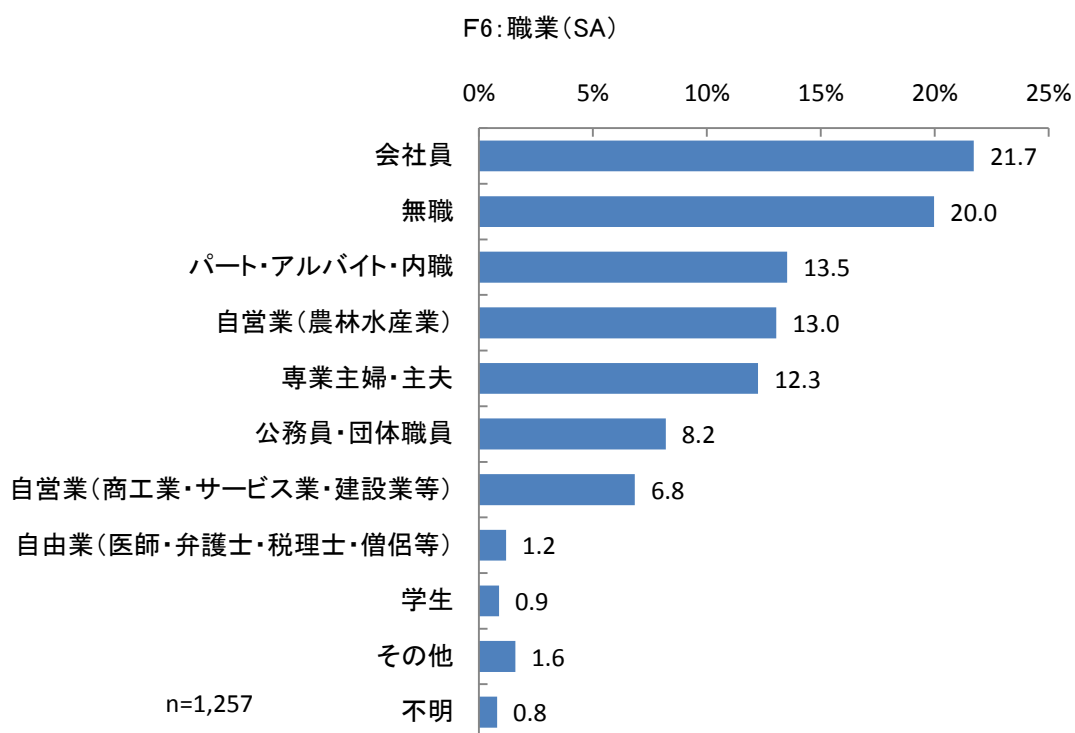
F5: 家族構成(SA)



カテゴリ	件	%
一人暮らし	190	15.1%
夫婦のみ	334	26.6%
二世代(親・子)	548	43.6%
三世代(親・子・孫)	148	11.8%
その他	24	1.9%
不明	13	1.0%
計	1,257	100.0%

## ⑥ 職業

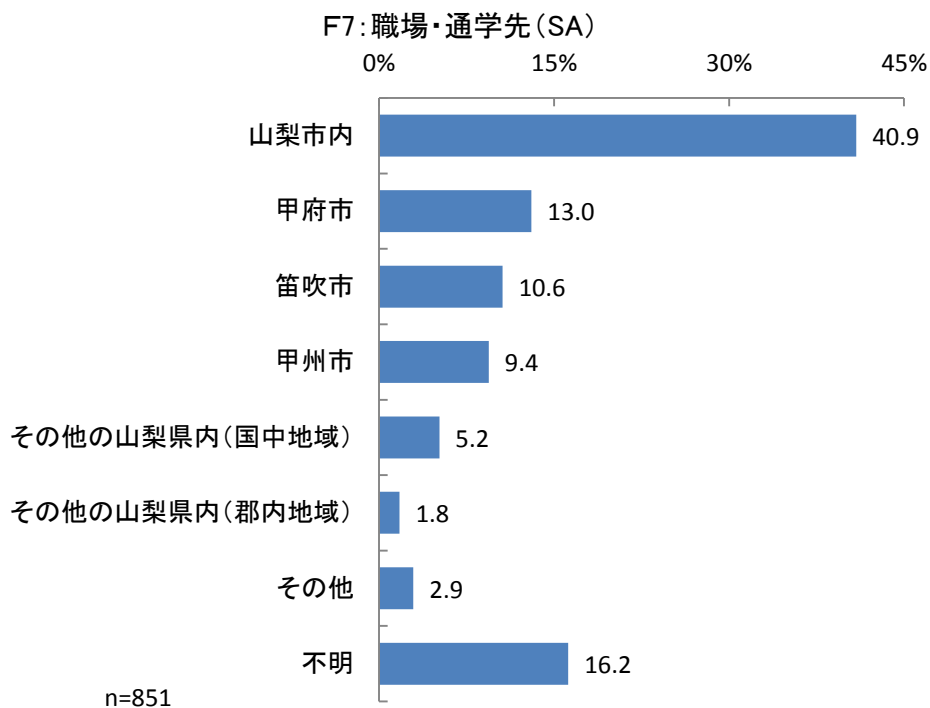
今回のアンケート調査に回答した市民の職業は、「会社員」が最も多く 21.7%、以下「無職」が 20.0%、「パート・アルバイト・内職」が 13.5%、「自営業（農林水産業）」が 13.0%、「専業主婦・主夫」が 12.3%、「公務員・団体職員」が 8.2%、「自営業（商工業・サービス業・建設業等）」が 6.8%、「自由業（医師・弁護士・税理士・僧侶等）」が 1.2%であった。



カテゴリ	件	%
会社員	273	21.7
無職	251	20.0
パート・アルバイト・内職	170	13.5
自営業(農林水産業)	164	13.0
専業主婦・主夫	154	12.3
公務員・団体職員	103	8.2
自営業(商工業・サービス業・建設業等)	86	6.8
自由業(医師・弁護士・税理士・僧侶等)	15	1.2
学生	11	0.9
その他	20	1.6
不明	10	0.8
計	1,257	100.0

⑦ 通勤・通学先

今回のアンケート調査に回答した市民の通勤・通学先は、「山梨市内」が最も多く 40.9%、以下「甲府市」が 13.0%、「笛吹市」が 10.6%、「甲州市」が 9.4%であった。



カテゴリー	件	%
山梨市内	348	40.9
甲府市	111	13.0
笛吹市	90	10.6
甲州市	80	9.4
その他の山梨県内(国中地域)	44	5.2
その他の山梨県内(郡内地域)	15	1.8
その他	25	2.9
不明	138	16.2
計	851	100.0

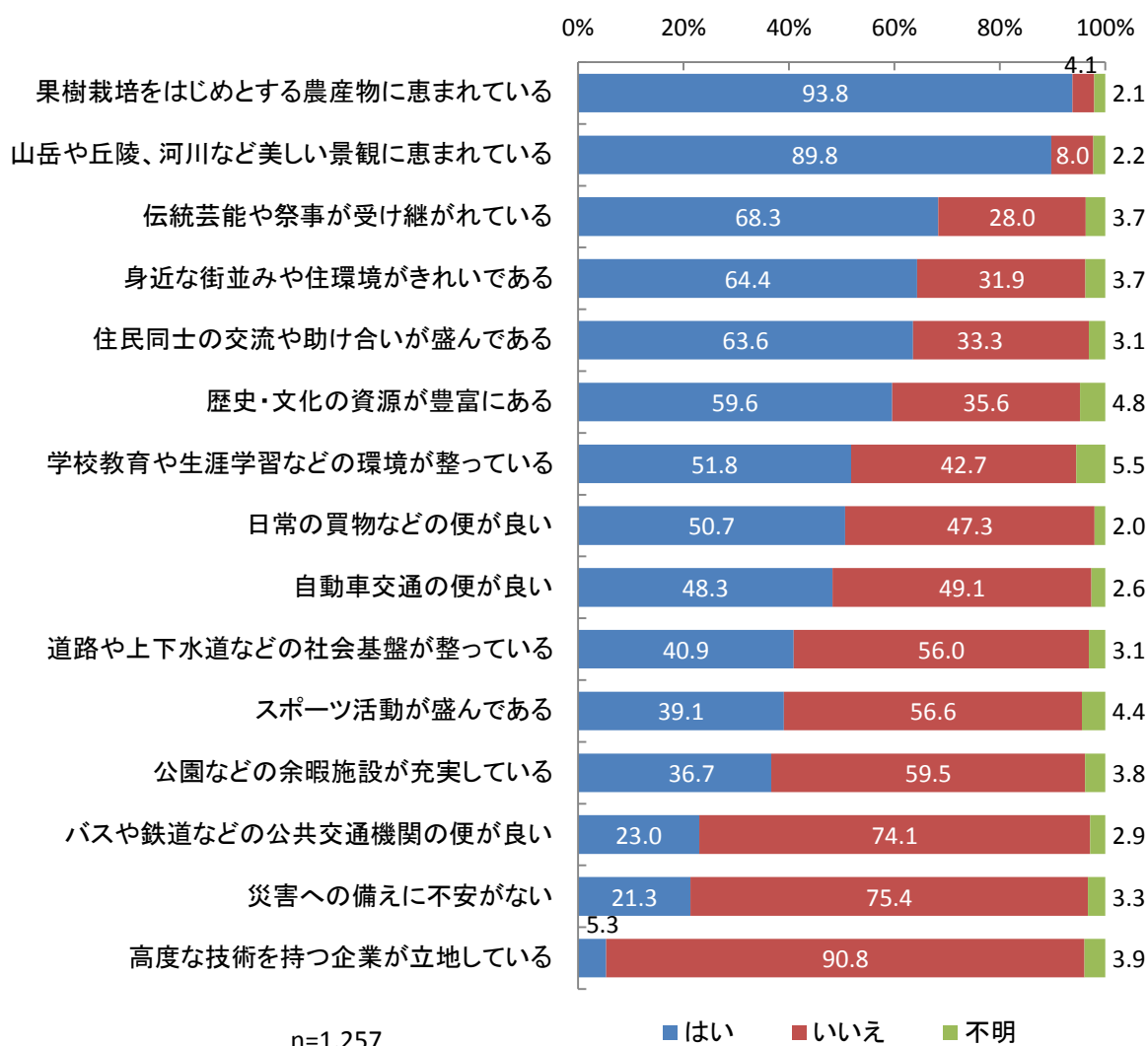
### 3. 山梨市の魅力・住みやすさについて

#### ① 山梨市の魅力

山梨市の魅力についてたずねたところ、肯定する「はい」という回答が最も多かったのは、「果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている」の93.8%で、以下「山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている」が89.8%、「伝統芸能や祭事が受け継がれている」が68.3%であった。

逆に、肯定する「はい」という回答が低かったのは、「高度な技術を持つ企業が立地している」が5.3%、「災害への備えに不安がない」が21.3%、「バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い」が23.0%であった。特に「高度な技術を持つ企業が立地している」がひとときわ低い結果となった。

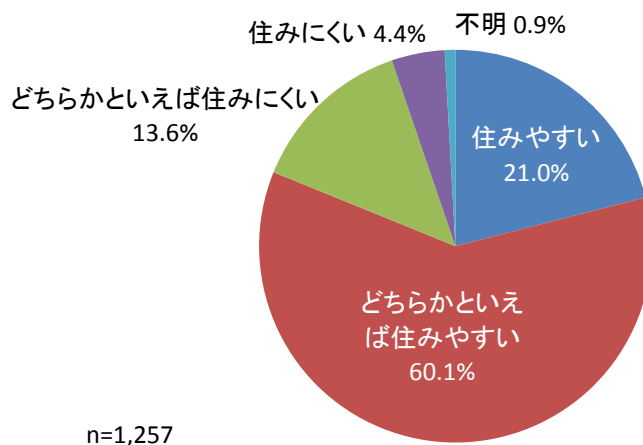
問1:山梨市の魅力 (SA)



## ② 山梨市の住みやすさ

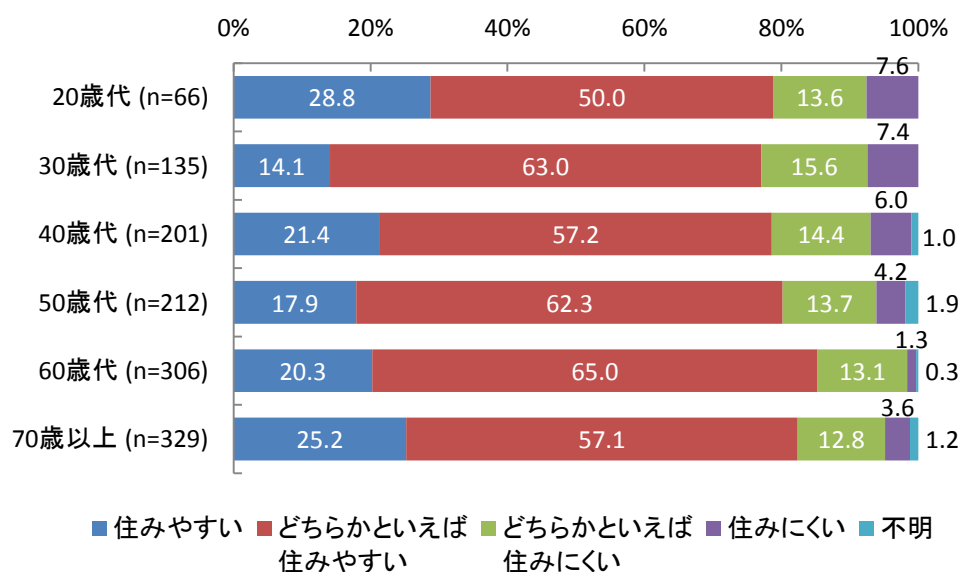
山梨市の住みやすさについてたずねたところ「住みやすい」が21.0%、「どちらかといえば住みやすい」が60.1%と、住みやすさに対して肯定的な回答が81.1%を占めた。「どちらかといえば住みにくい」は13.6%、「住みにくい」は4.4%であった。

問2: 山梨市の住みやすさ(SA)



山梨市の住みやすさについて年齢別に集計すると、肯定的な回答がもっとも多かったのは、60歳代の85.3%で、以下70歳以上の82.3%、50歳代の80.2%であった。50歳以上は肯定的な回答がいずれも80%を超えているが、20歳代~40歳代については、80%を下回っている。

F2: 年齢×問2: 山梨市の住みやすさ(SA)

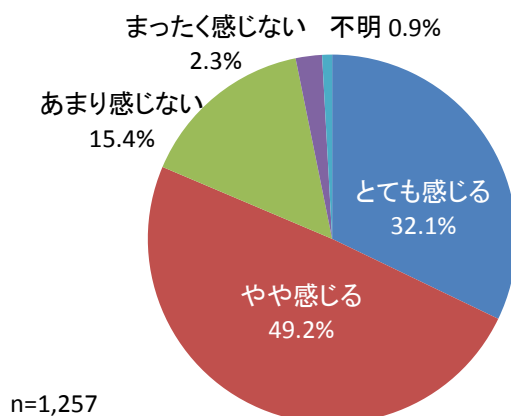


### ③ 山梨市に対する愛着

山梨市への愛着についてたずねたところ、「とても感じる」が 32.1%、「やや感じる」が 49.2%と、肯定的な回答が 81.3%であった。

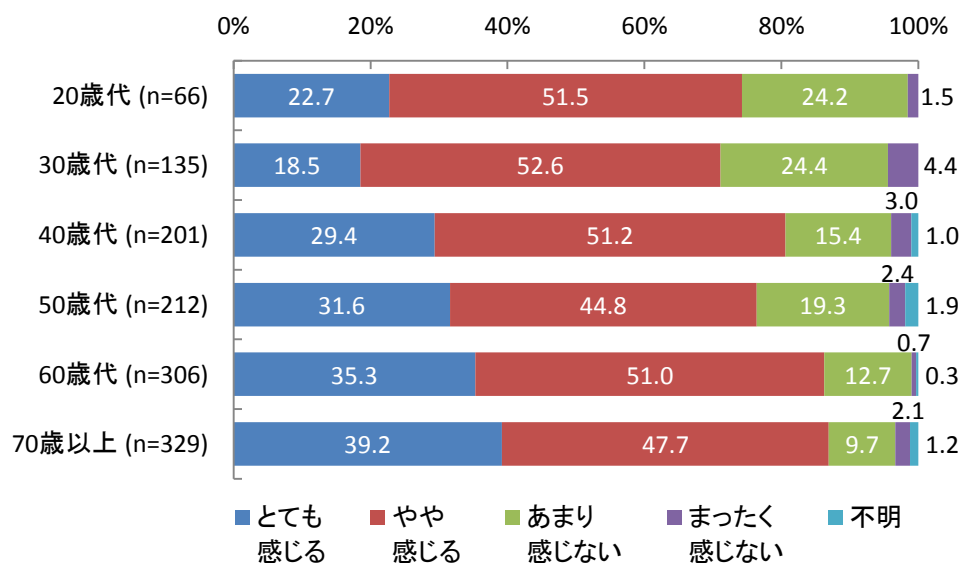
「あまり感じない」は 15.4%、「まったく感じない」は 2.3%であり、否定的な回答は 17.7%であった。

問3: 山梨市に対する愛着(SA)



山梨市への愛着について年齢別に集計すると、肯定的な回答が最も多かったのは 70 歳以上の 86.9%で、以下 60 歳代の 86.3%、40 歳代の 80.6%であった。特に 50 歳代以上では「とても感じる」が 30%を超えているのに対し、30 歳代、20 歳代では「とても感じる」が 18.5%、22.7%と、低い結果となった。

F2: 年齢 × 問3: 山梨市に対する愛着(SA)

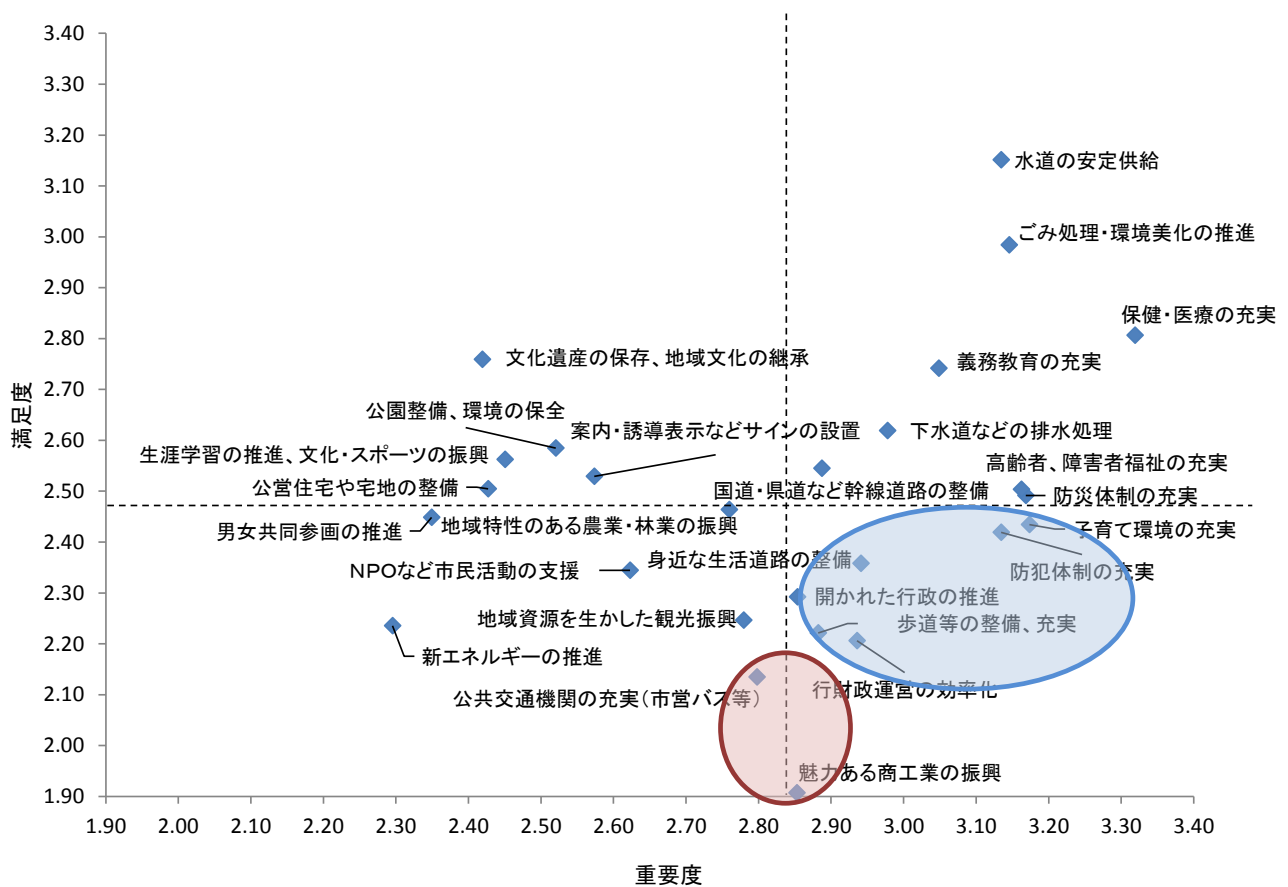


#### 4. 満足度、今後の施策の重要度について

市が実施する施策にどの程度満足しているのかということと、今後の各施策をどの程度重要であると考えているのかを、満足度と重要度としてたずねた。

満足度については、「満足している」、「やや満足している」、「やや不満である」、「不満である」の4段階、重要度については、「きわめて重要である」、「かなり重要である」、「まあ重要である」、「あまり重要ではない」の4段階でたずねた。

集計に当たっては、満足度、重要度が高い選択肢から各々4点、3点、2点、1点を割り振り、各施策について回答者の平均点を算出した。この結果について、重要度を横軸に、満足度を縦軸にとり、散布図形式で示した。なお、図中に示した点線は、満足度、重要度の全体の平均値を表している。





グループAは満足度が特に低くなっているものであり、以下の2施策である。

施策	満足度の点数
魅力ある商工業の振興	1.91
公共交通機関の充実(市営バス等)	2.13

グループBは重要度の認識は高いが、満足度がやや低くなっているものであり、以下の6施策である。

施策	満足度の点数	重要度の点数
行財政運営の効率化	2.21	2.94
歩道橋の整備、充実	2.22	2.88
身近な生活道路の整備	2.36	2.94
防犯体制の充実	2.42	3.13
子育て環境の充実	2.43	3.17

	カテゴリ	満足度
1	公園整備、環境の保全	2.58
2	文化遺産の保存、地域文化の継承	2.76
3	ごみ処理・環境美化の推進	2.98
4	保健・医療の充実	2.81
5	高齢者、障害者福祉の充実	2.50
6	子育て環境の充実	2.43
7	男女共同参画の推進	2.45
8	地域特性のある農業・林業の振興	2.46
9	魅力ある商工業の振興	1.91
10	地域資源を生かした観光振興	2.25
11	義務教育の充実	2.74
12	生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	2.56
13	公共交通機関の充実(市営バス等)	2.13
14	国道・県道など幹線道路の整備	2.54
15	身近な生活道路の整備	2.36
16	歩道等の整備、充実	2.22
17	案内・誘導表示などサインの設置	2.53
18	水道の安定供給	3.15
19	下水道などの排水処理	2.62
20	公営住宅や宅地の整備	2.50
21	防災体制の充実	2.49
22	防犯体制の充実	2.42
23	開かれた行政の推進	2.29
24	行財政運営の効率化	2.21
25	NPOなど市民活動の支援	2.34
26	新エネルギーの推進	2.24

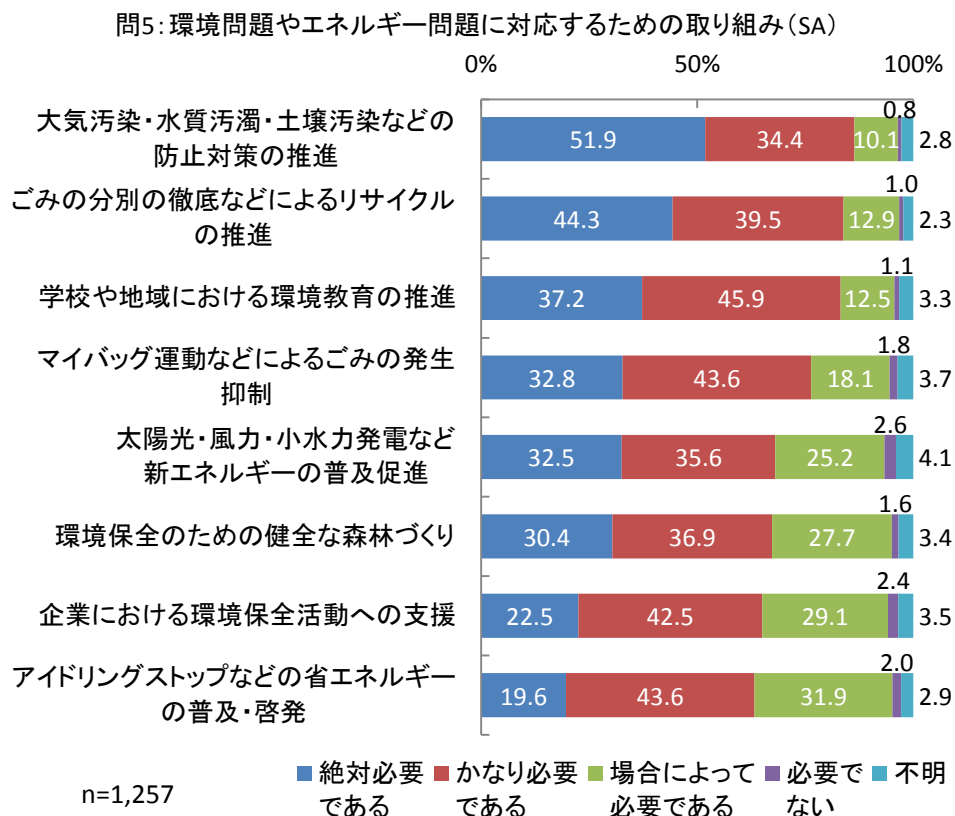
	カテゴリ	重要度
1	公園整備、環境の保全	2.52
2	文化遺産の保存、地域文化の継承	2.42
3	ごみ処理・環境美化の推進	3.15
4	保健・医療の充実	3.32
5	高齢者、障害者福祉の充実	3.16
6	子育て環境の充実	3.17
7	男女共同参画の推進	2.35
8	地域特性のある農業・林業の振興	2.76
9	魅力ある商工業の振興	2.85
10	地域資源を生かした観光振興	2.78
11	義務教育の充実	3.05
12	生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	2.45
13	公共交通機関の充実(市営バス等)	2.80
14	国道・県道など幹線道路の整備	2.89
15	身近な生活道路の整備	2.94
16	歩道等の整備、充実	2.88
17	案内・誘導表示などサインの設置	2.57
18	水道の安定供給	3.13
19	下水道などの排水処理	2.98
20	公営住宅や宅地の整備	2.43
21	防災体制の充実	3.17
22	防犯体制の充実	3.13
23	開かれた行政の推進	2.85
24	行財政運営の効率化	2.94
25	NPOなど市民活動の支援	2.62
26	新エネルギーの推進	2.30

## 5. 分野ごとの各施策の必要性について

設問ごとに、「絶対必要である」、「かなり必要である」、「場合によっては必要である」、「必要でない」の4段階でたずねた。

### ① 環境問題やエネルギー問題に対応するための取り組み

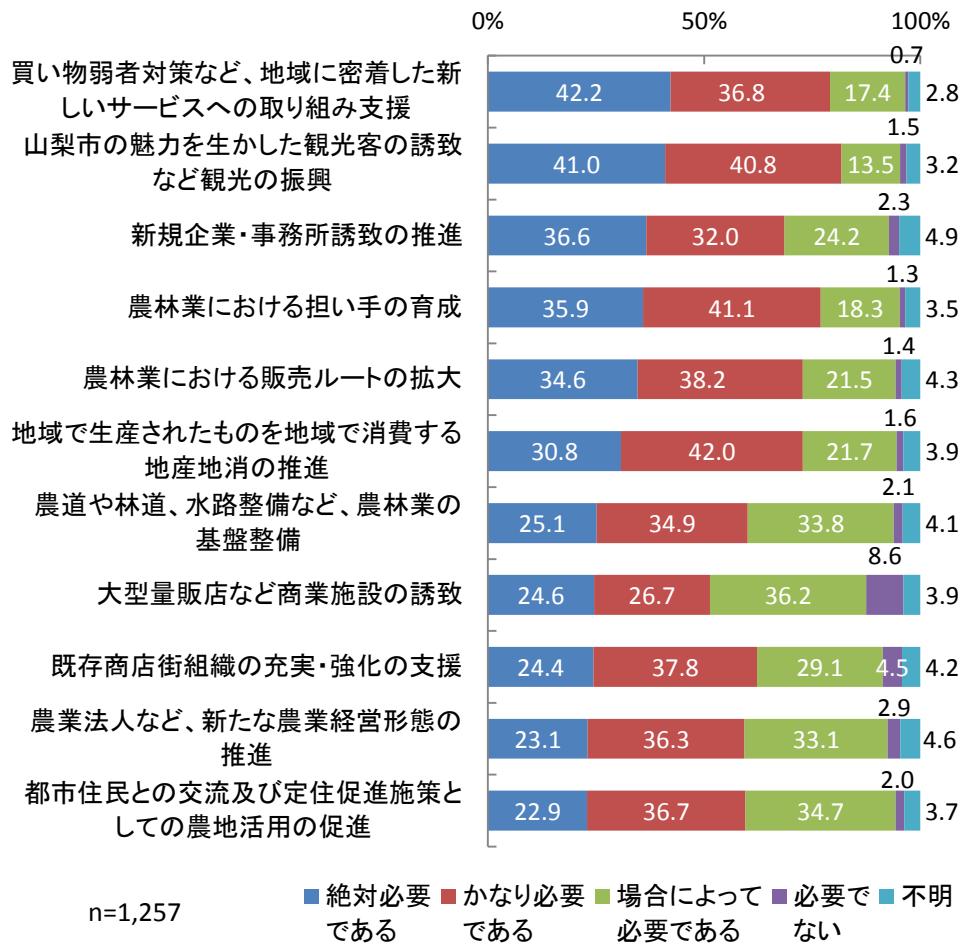
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは、「大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進」の86.3%で、以下「ごみの分別の徹底などによるリサイクルの推進」が83.8%、「学校や地域における環境教育の推進」が83.1%であった。



② 産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するための取り組み

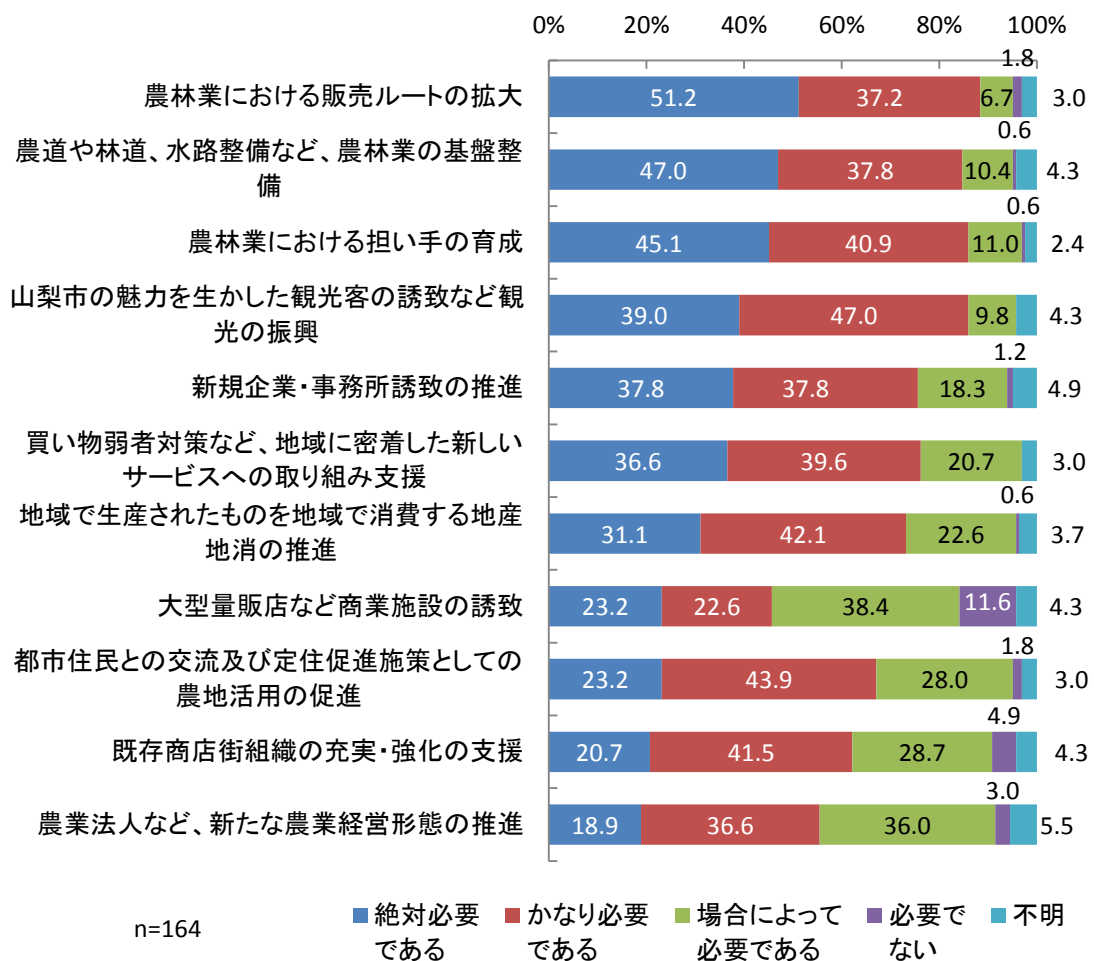
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは、「山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興」の81.8%で、以下「買い物弱者対策など、地域に密着した新しいサービスへの取り組み支援」が79.0%、「農林業における担い手の育成」が77.0%、「農林業における販売ルート拡大」「地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の推進」がそれぞれ72.8%であった。

問6: 産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するための取り組み（SA）



産業が発展する為の具体的な取り組みについて、農林水産業を営む回答者に限定して集計すると、「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは「農林業における販売ルートの拡大」の88.4%で、以下「農林業における担い手の育成」「山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興」がそれぞれ86.0%となっており、販売先の確立と後継者が重要な課題と感じていることが見受けられる。

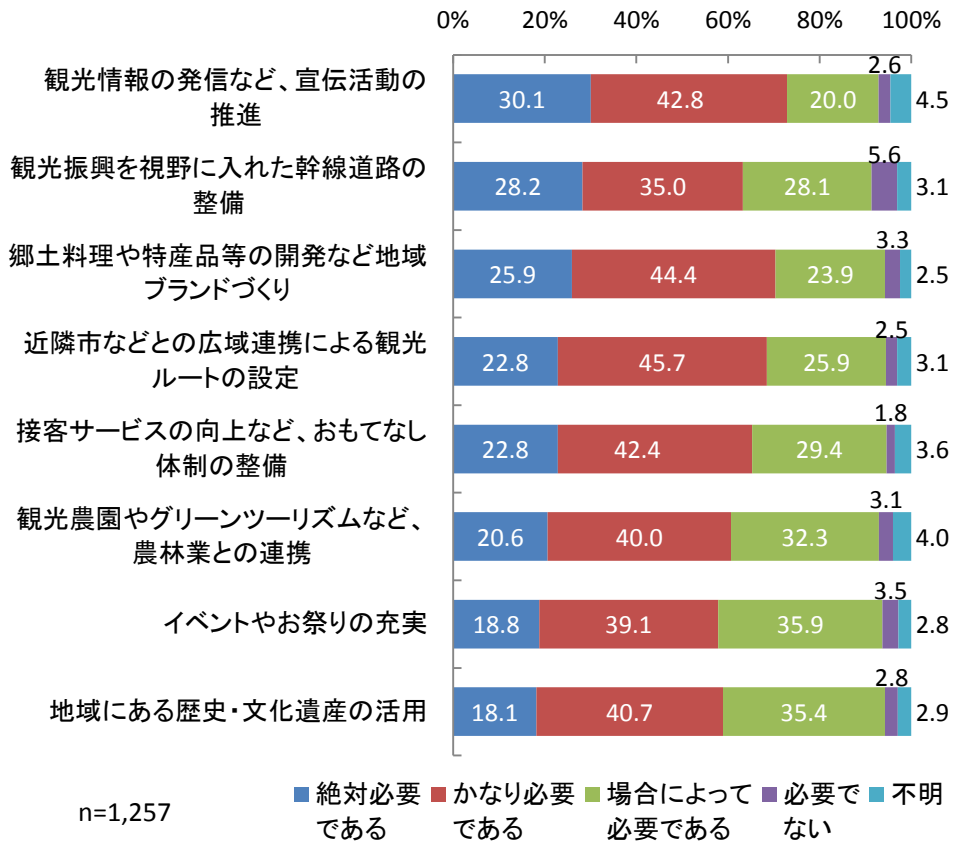
F6: 職業【農林水産業】× 問6: 産業(農林業・商業・工業・観光業)が発展するための取り組み(SA)



### ③ 観光を盛んにするための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは、「観光情報の発信など、宣伝活動の推進」の72.9%で、以下「郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり」が70.3%、「近隣市などとの広域連携による観光ルートの設定」が68.5%、「接客サービス向上など、おもてなし体制の整備」が65.2%、「観光振興を視野に入れた幹線道路の整備」が63.2%であった。

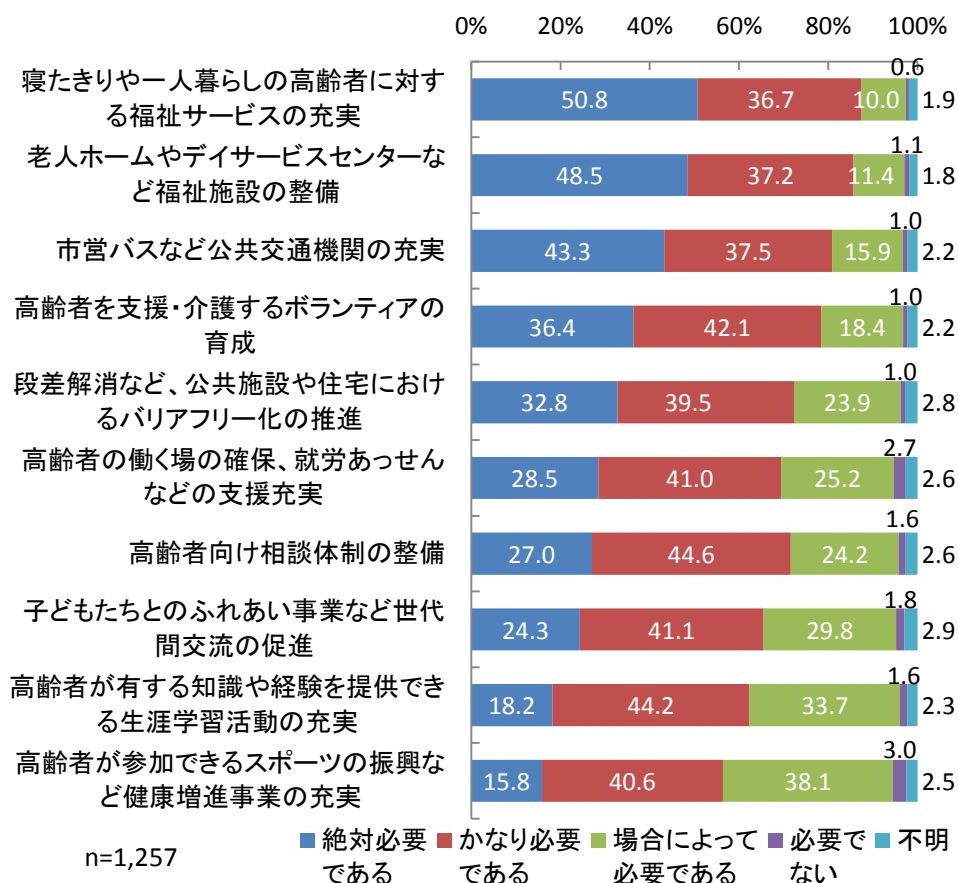
問7: 観光を盛んにするための取り組み (SA)



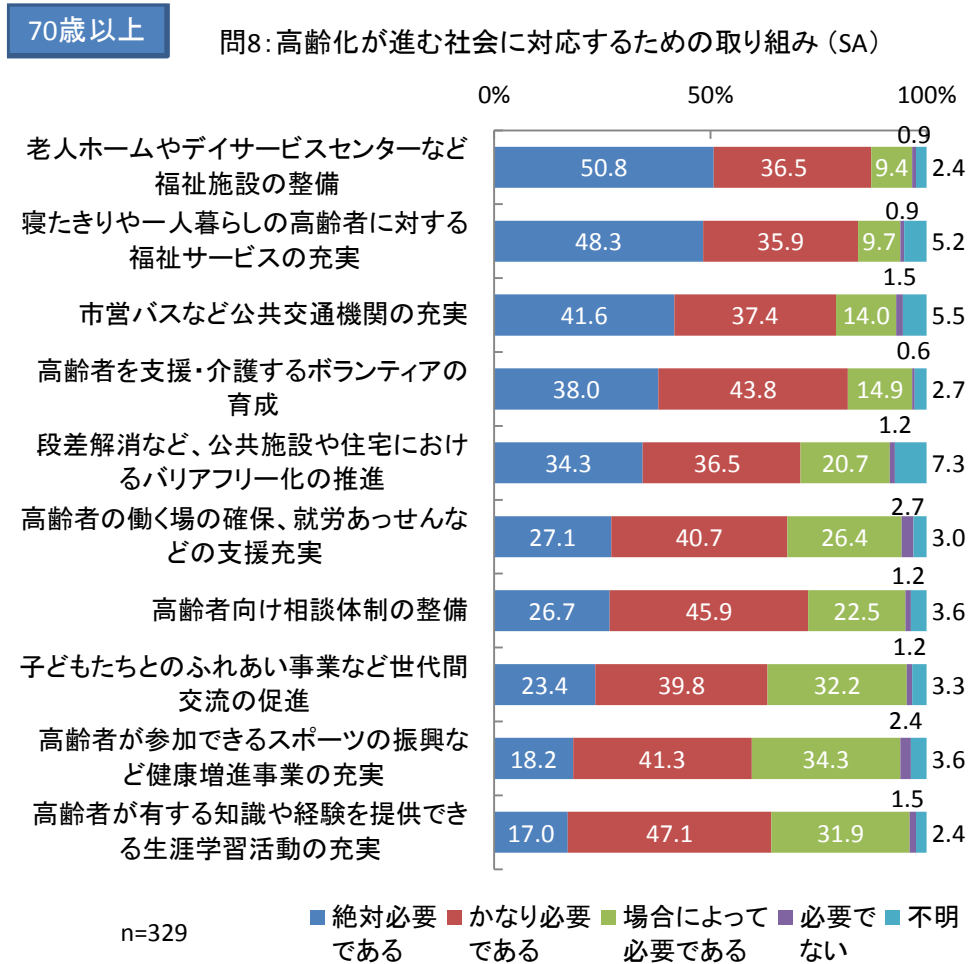
#### ④ 高齢化が進む社会に対応するための取り組み

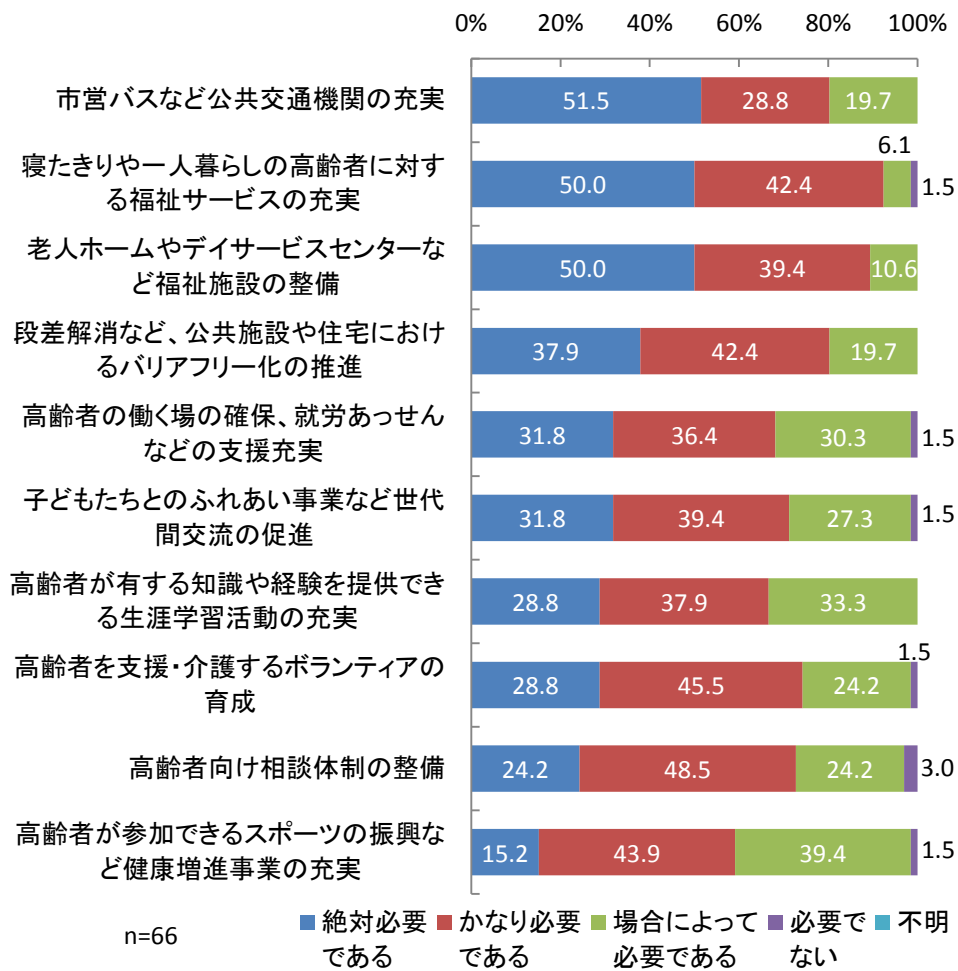
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは、「寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実」の87.5%で、次いで「老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備」が85.7%、「市営バスなど公共交通機関の充実」が80.8%、「高齢者を支援、介護するボランティアの育成」が78.5%であった。

問8: 高齢化が進む社会に対応するための取り組み (SA)



同じ質問を年代別（70歳以上、20歳代）で集計した結果、「絶対必要である」「かなり必要である」の合計について上位2項目は順位は違うが同じ項目が占める結果となった。「老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備」が（87.3%、89.4%）「寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実」が（84.2%、92.4%）であった。



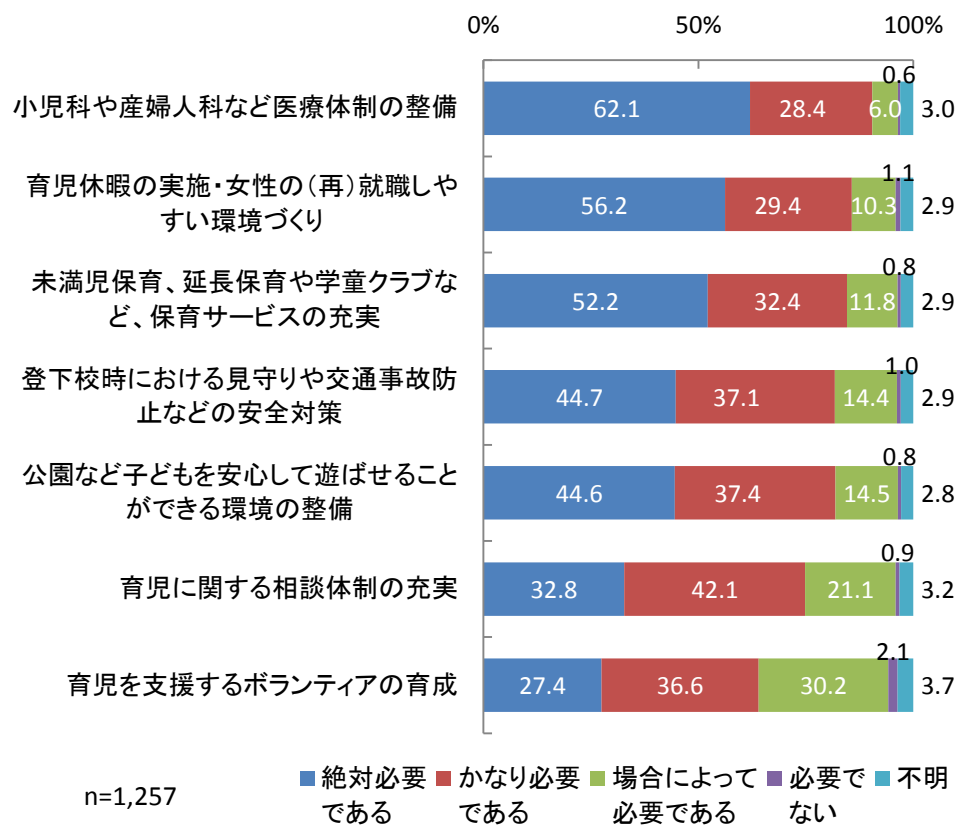




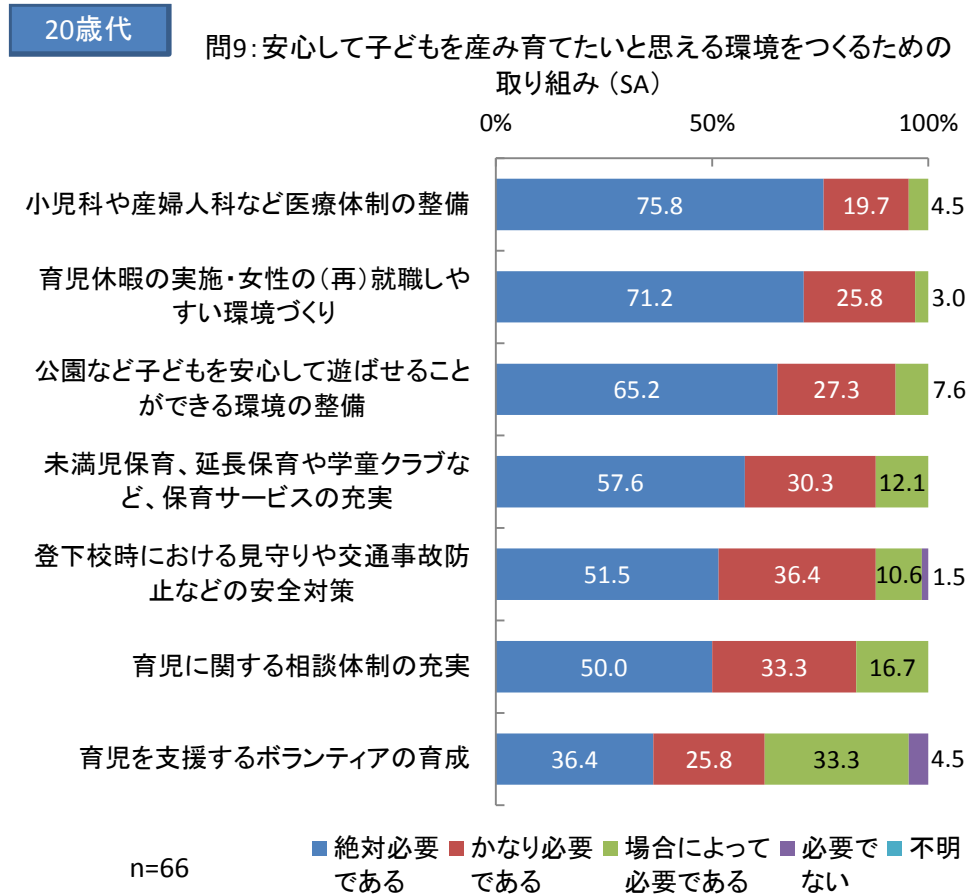
⑤ 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは、「小児科や産婦人科など医療体制の整備」の90.5%で、以下「育児休暇の実施・女性の（再）就職しやすい環境づくり」が85.6%、「未満児保育、延長保育や学童クラブなど、保育サービスの充実」が84.6%、「公園など子どもを安心して遊ばせることができる環境の整備」が82.0%であった。

問9:安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための取り組み (SA)

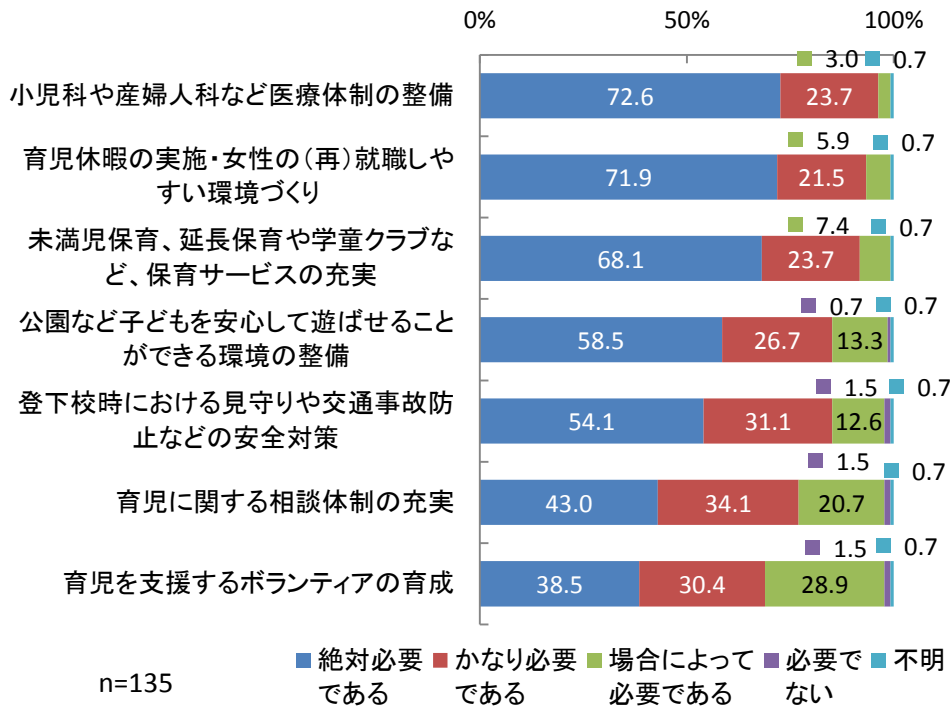


同じ質問を 20、30、40 歳代に限定すると、いずれの年代においても「小児科や産婦人科など医療体制の整備」を「絶対必要である」と回答した割合が最も多く、次いで「育児休暇の実施・女性の（再）就職しやすい環境づくり」となった。



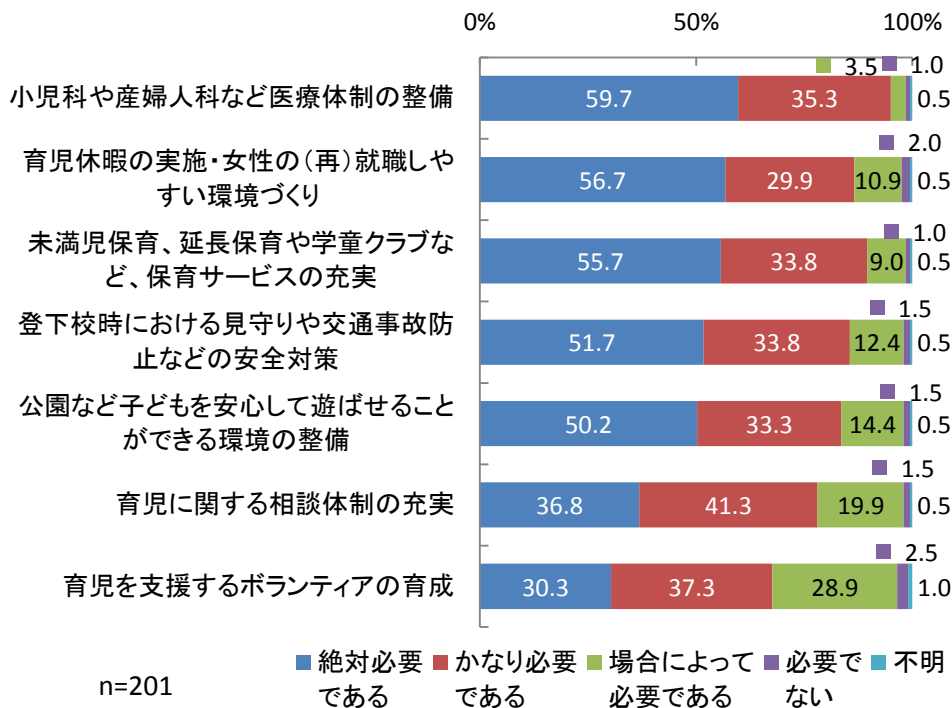
30歳代

問9: 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための  
取り組み (SA)



40歳代

問9: 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための  
取り組み (SA)

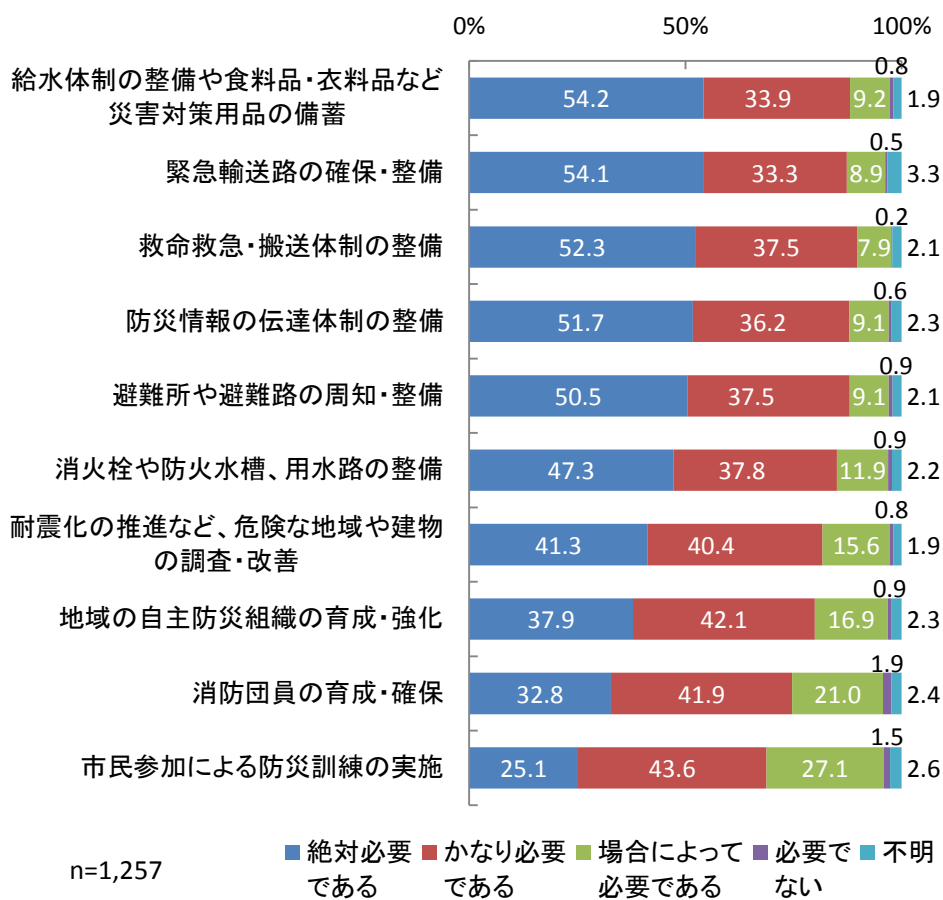


⑥ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは、「救命救急・搬送体制の整備」の89.8%で、以下「給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄」が88.1%、「避難所や避難経路の周知・整備」が88.0%であった。

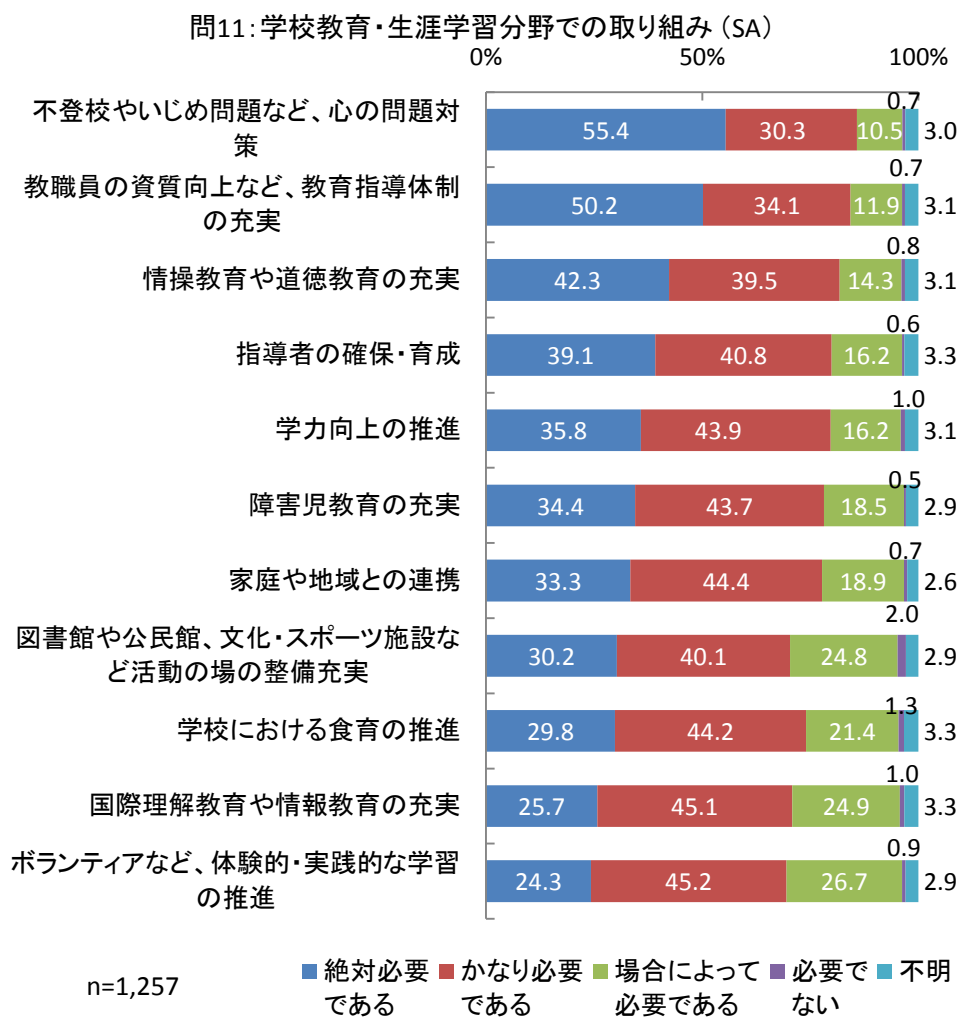
また、85%以上を示したものとしては、上記のほか「防災情報の伝達体制の整備」が87.9%、「緊急輸送路の確保・整備」が87.4%、「消火栓や防火水槽、用水路の整備」が85.1%であった。

問10: 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み (SA)



⑦ 学校教育・生涯学習分野での取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も多かったのは「不登校やいじめ問題など、心  
の問題対策」の85.7%で、以下「教職員の資質向上など、教育指導体制の充実」が84.3%、「情操教  
育や道徳教育の充実」が81.8%、「指導者の確保・育成」が79.9%、「学力向上の推進」が79.7%であ  
った。



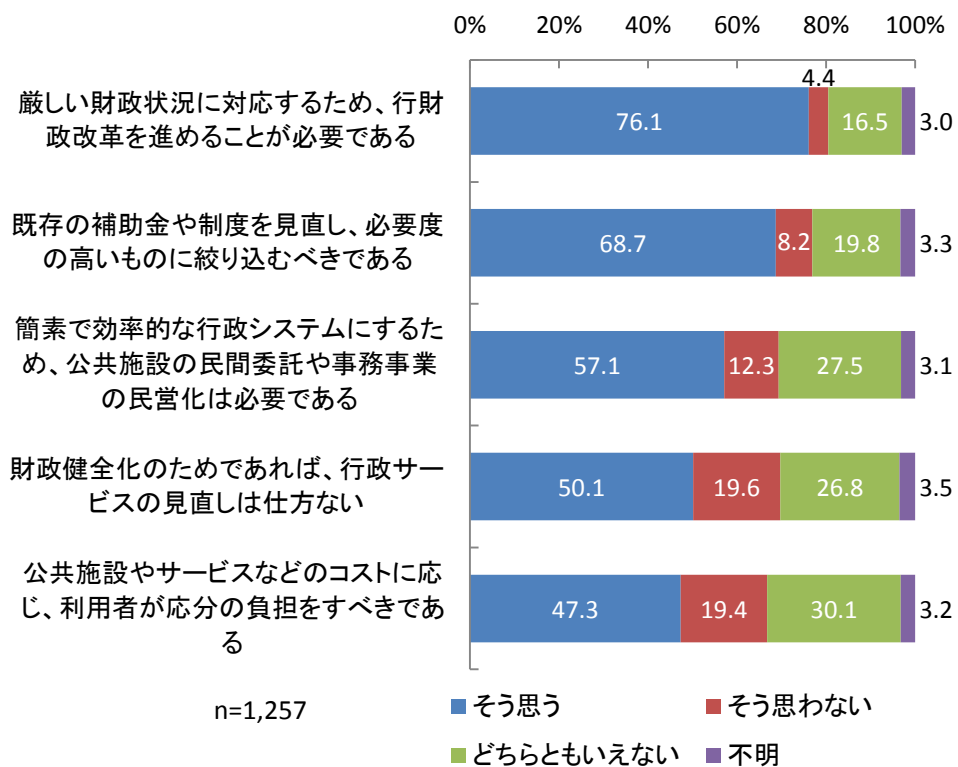
## 6. 市民と行政とのあり方について

### ① 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について

昨今の財政が厳しい中、「行財政改革」「行政サービスの水準と負担」についての市民の意向を調査した問いでは、全ての項目において「そう思う」が「そう思わない」を大きく上回る結果となった。

中でも「厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進める必要がある」では76.1%、「既存の補助金や制度を見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである」でも68.7%となり、多くの市民が支持する結果となった。

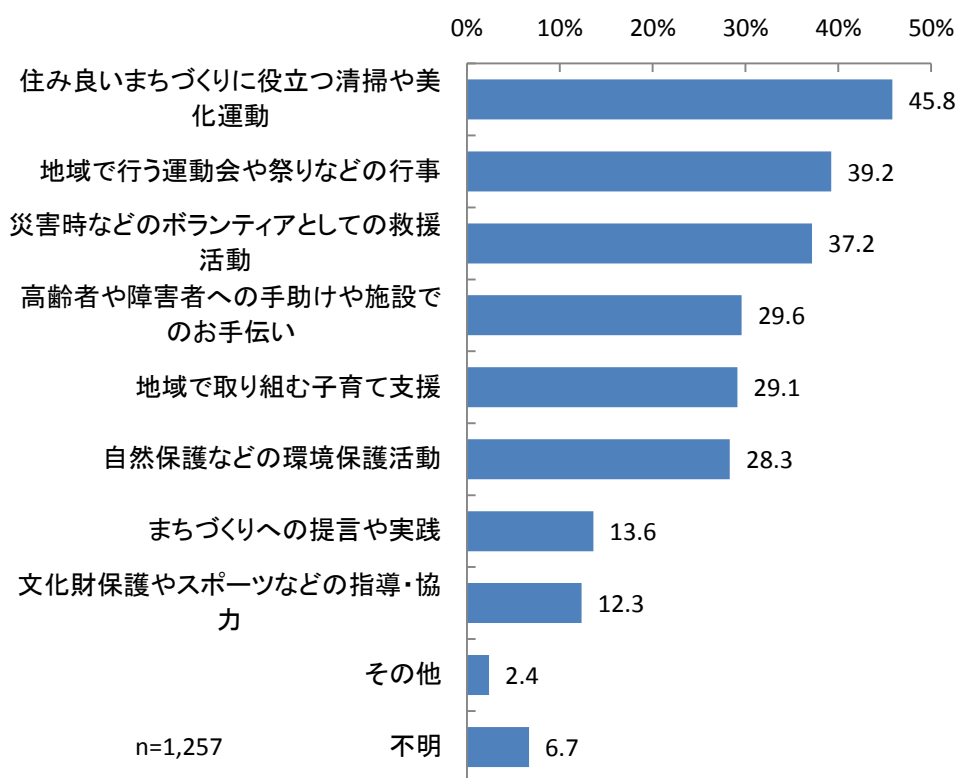
問12: 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について (SA)



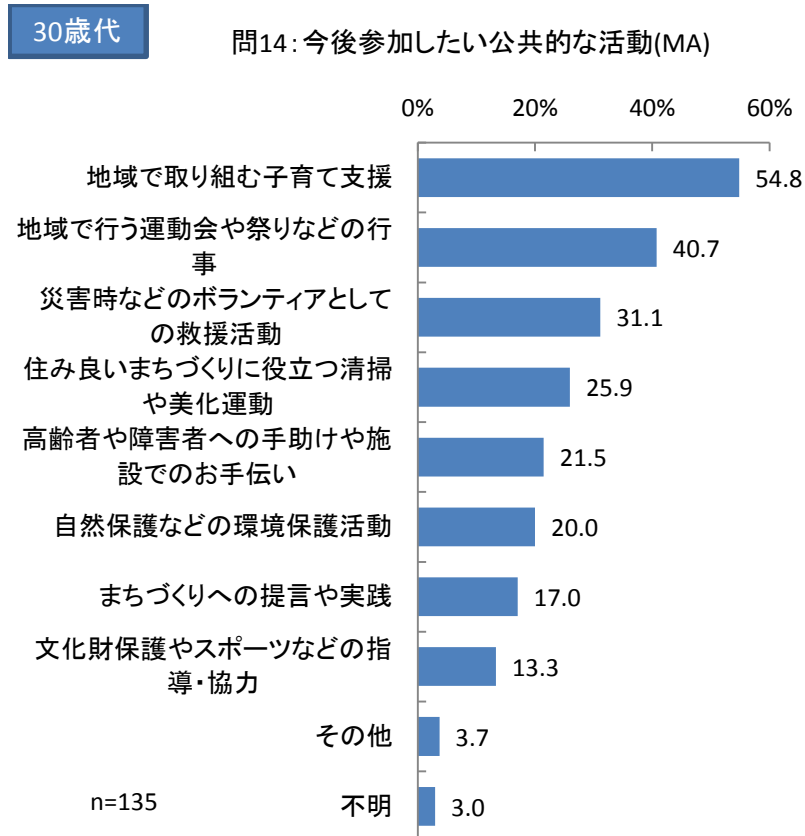
## ② 今後参加したい公共的な活動

今後、どのような公共的な活動に参加したいと考えるか、という問いに対して、「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」が45.8%と最も多く、以下「地域で行う運動会や祭りなどの行事」が39.2%、「災害時などのボランティアとしての救援活動」が37.2%であった。

問14: 今後参加したい公共的な活動 (MA)



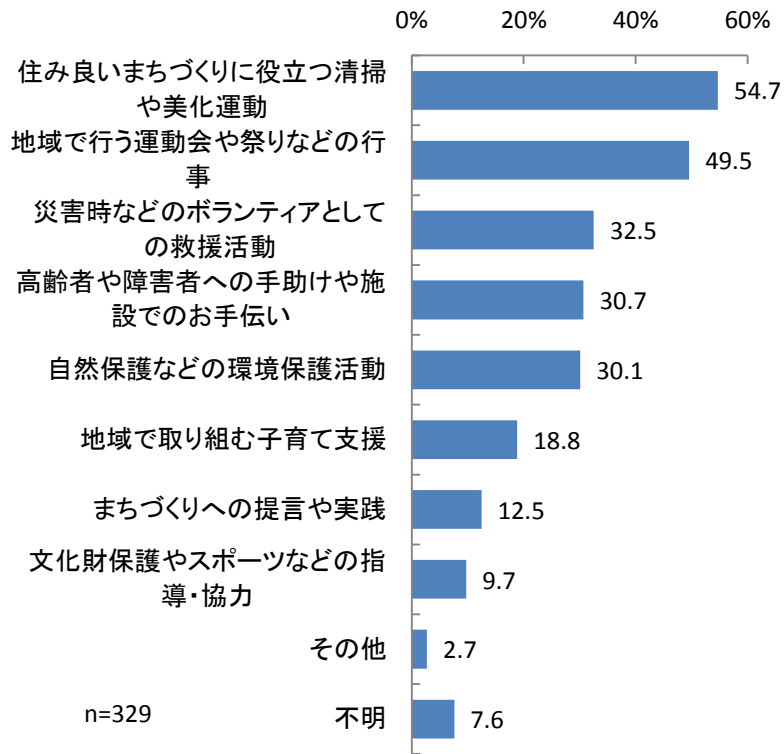
同じ質問を30歳代と70歳以上の年代別に集計すると、30歳代では「地域で取り組む子育て支援」が54.8パーセントと最も多く、70歳以上では「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」が54.7%で最も多くなった。以下「地域で行う運動会や祭りなどの行事」が30歳代で40.7%、70歳以上で49.5%、「災害時などのボランティアとしての救援活動」が30歳代で31.1%、70歳以上で32.5%であった。





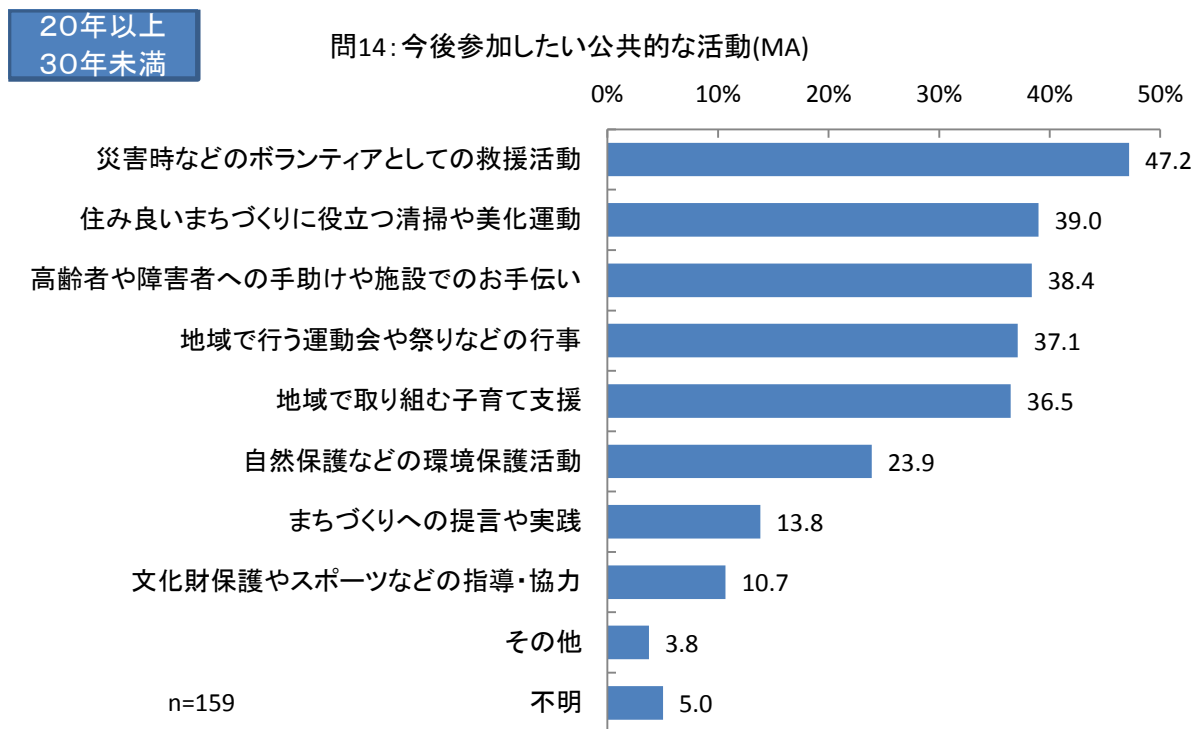
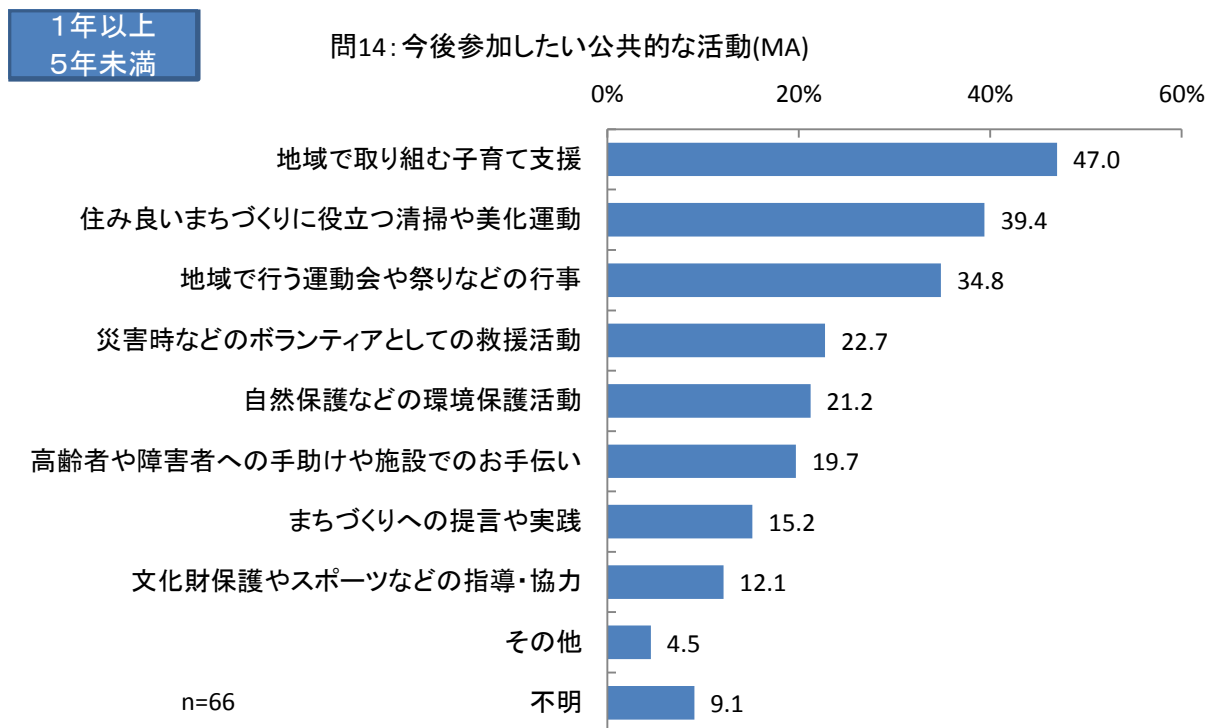
70歳以上

問14: 今後参加したい公共的な活動(MA)



居住年数別（1年以上5年未満、20年以上30年未満の別）で集計すると、1年以上5年未満の回答者は「地域で取り組む子育て支援」が47.0%と最も多く、次いで「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」が39.4%となっている。

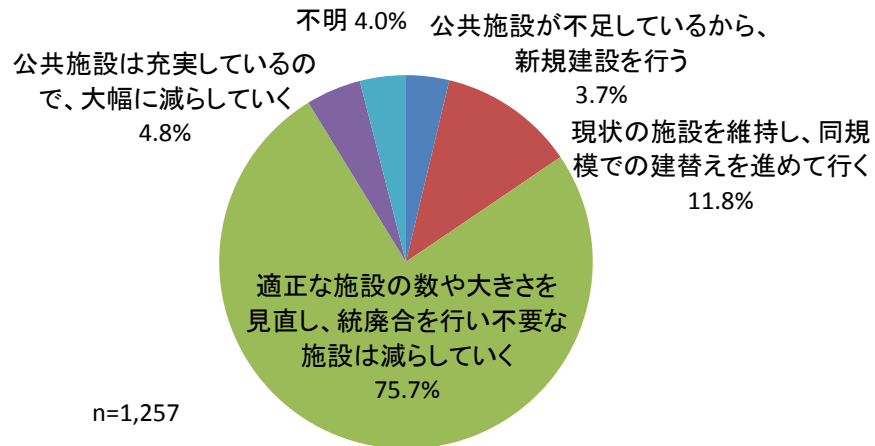
一方、20年以上30年未満の回答者では「災害時などのボランティアとしての救援活動」が47.2%と最も多く、次いで「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」が39.0%であった。



## 7. 今後の公共施設のあり方について

今後の公共施設の整備のあり方への問いに対しては「適正な施設の数や大きさを見直し、統廃合を行い不要な施設は減らしていく」が75.7%、「現状の施設を維持し、同規模での建替えを進めて行く」が11.8%、「公共施設は充実しているので、大幅に減らしていく」が4.8%、「公共施設が不足しているから、新規建設を行う」が3.7%であった。

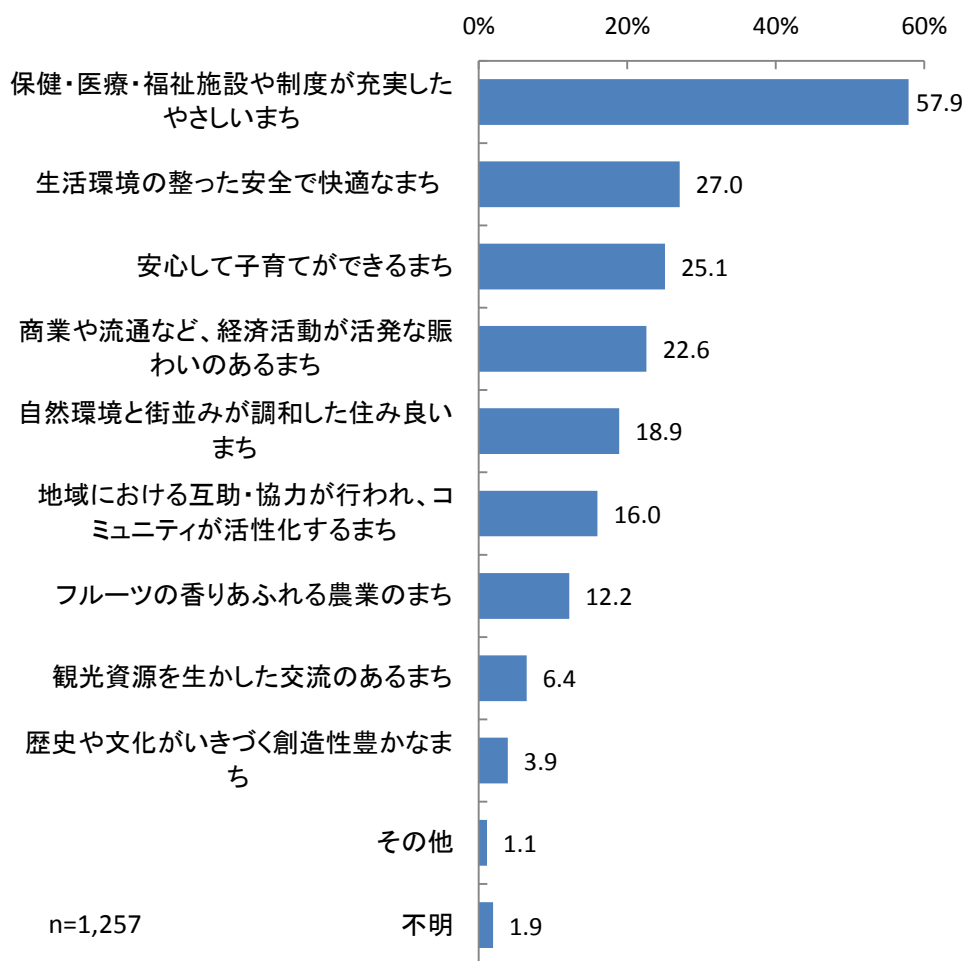
問13: 今後の公共施設のあり方について (SA)



## 8. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて

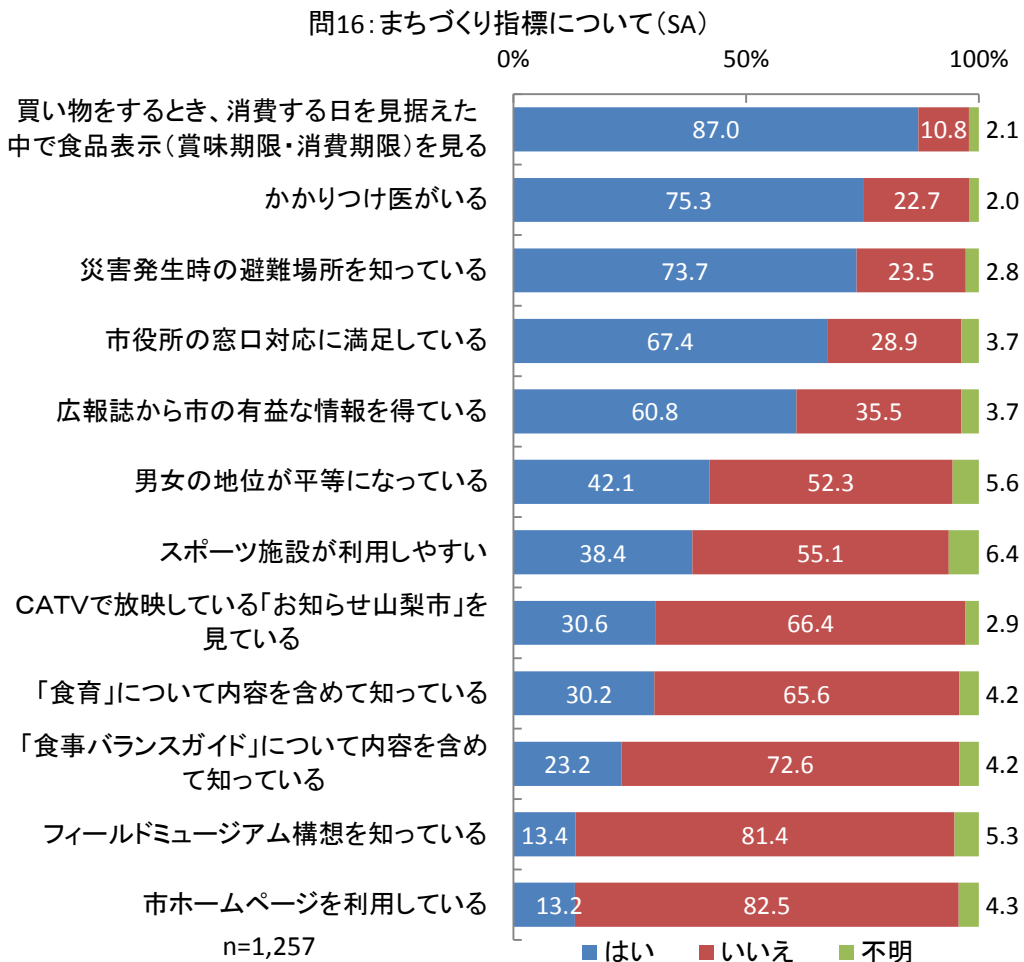
山梨市の将来像として、10年後どのようなまちであって欲しいかという問いに対して、「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」が57.9%と最も多く、以下「生活環境の整った安全で快適なまち」が27.0%、「安心して子育てができるまち」が25.1%、「商業や流通など、経済活動が活発な賑わいのあるまち」が22.6%であった。

問15: 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて (MA: 2つ)



## 9. まちづくり指標について

第1次山梨市総合計画に示されている、まちづくりの指標等についての考え、認識度、状況に関する問いに対し、「はい」という回答が最も多かったのは「買い物をするとき、消費する日を見据えた中で食品表示（賞味期限・消費期限）を見る」の87.0%で、以下「かかりつけ医がいる」が75.3%、「災害発生時の避難場所を知っている」が73.7%であった。

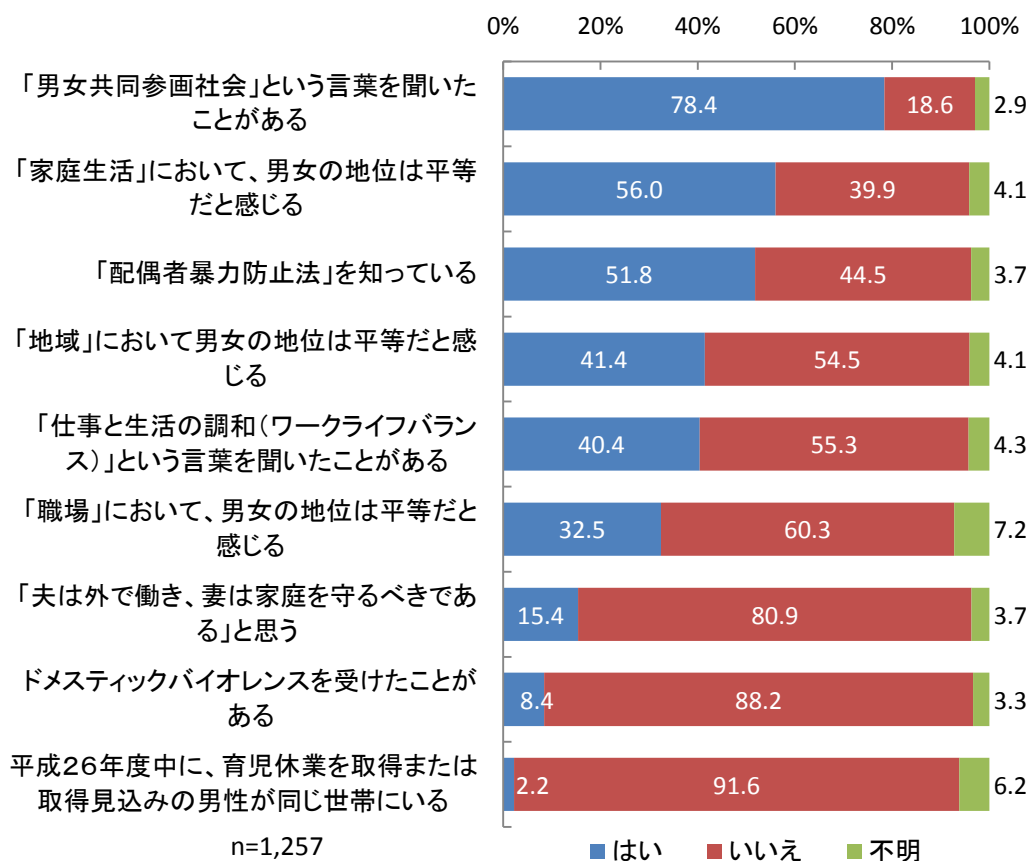


## 10. 男女共同参画について

「男女共同参画」という言葉の認識度は78.4%と高くなっている。

しかし、男女の地位が平等だと感じるとの回答は「家庭生活」では56.0%、「地域」では41.4%、「職場」では32.5%となり、低い数値にとどまっている。

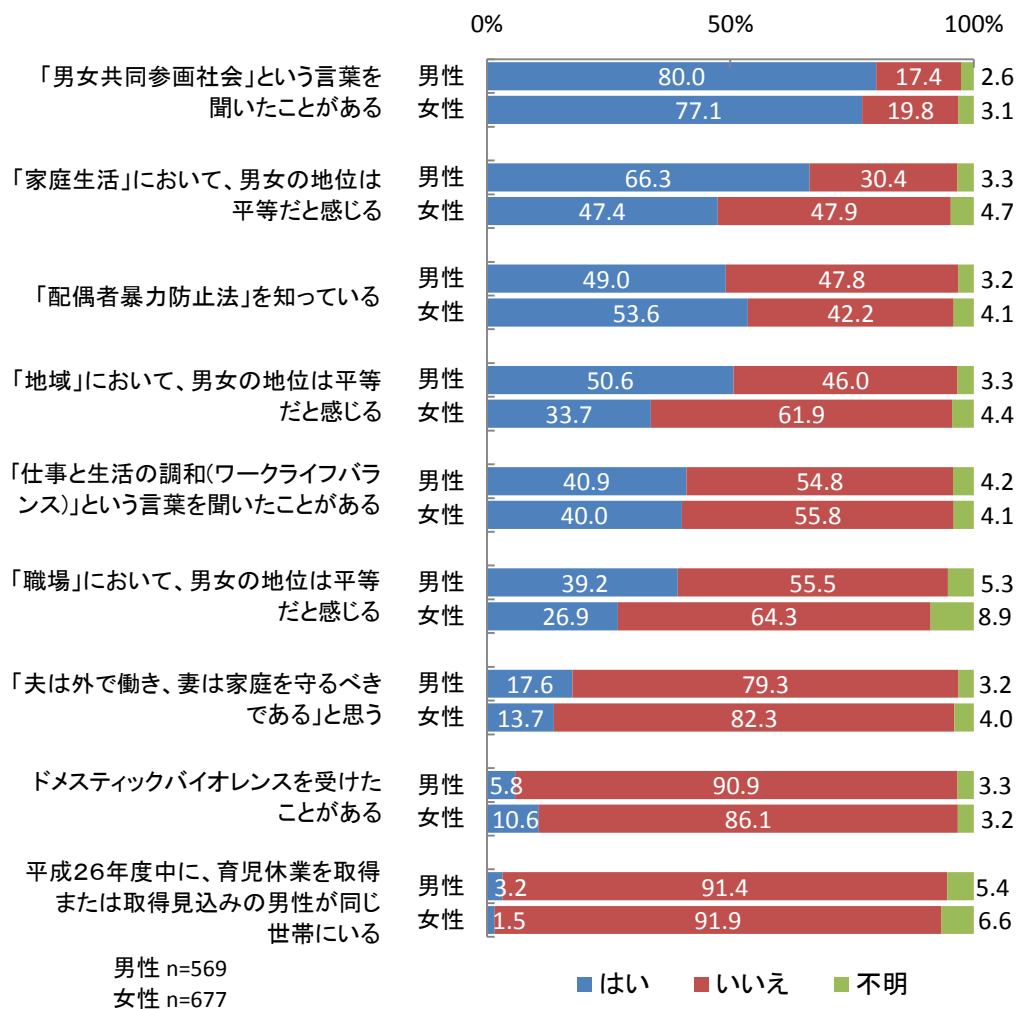
問17: 男女共同参画について(SA)



男女別に集計し、意識の差をみると、「男女共同参画社会」という言葉の認識度は男性が80.0%、女性が77.1%と高い数値であった。

しかし、家庭や地域、職場において、男女の地位が平等と感じている女性の割合はいずれも男性より低くなっている。

F1: 性別 × 問17: 男女共同参画について (SA)

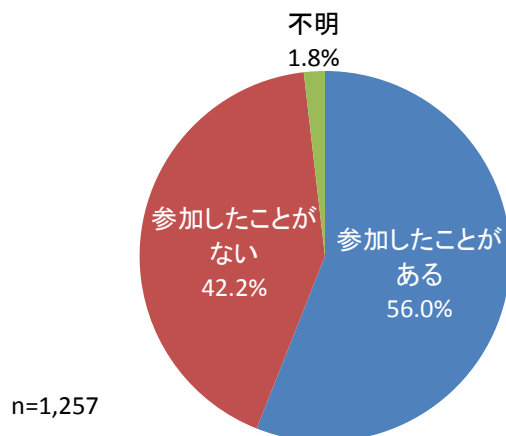


## 1 1. 地区公民館を多くの方に利用していただくための利用状況について

### ① 地区公民館事業への参加状況

「教室・講座」「体育祭・公民館まつり」など地区公民館事業への参加状況について「参加したことがある」が56.0%、「参加したことがない」が42.2%であった。

問18-1:地区公民館事業への参加状況(SA)



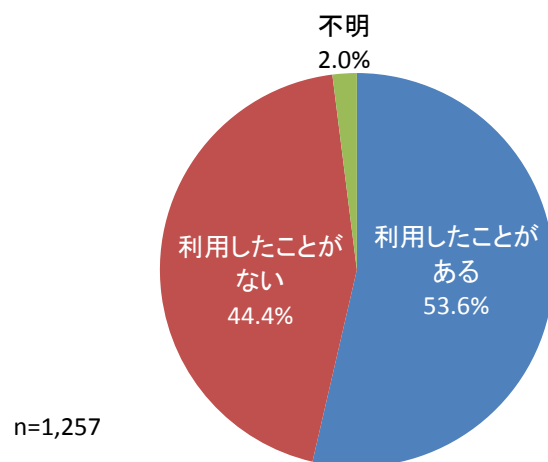
カテゴリ	件	%
参加したことがある	704	56.0%
参加したことがない	530	42.2%
不明	23	1.8%
計	1,257	100.0%



## ② サークル活動や会議などでの地区公民館施設（部屋）の利用状況

サークル活動や会議などで地区公民館施設（部屋）の利用状況を確認したところ「利用したことがある」が53.6%、「利用したことがない」が44.4%であった。

問18-2:サークル活動や会議などでの地区公民館施設(部屋)の利用状況(SA)

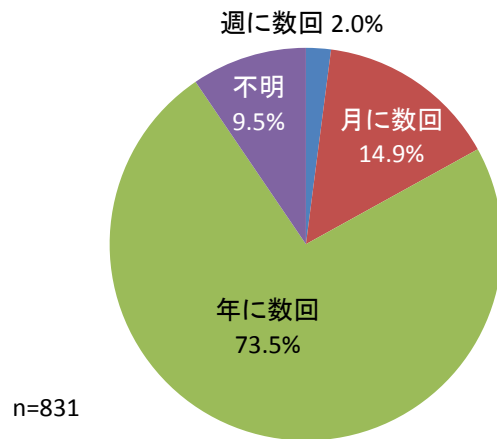


カテゴリ	件	%
利用したことがある	674	53.6%
利用したことがない	558	44.4%
不明	25	2.0%
計	1,257	100.0%

### ③ 地区公民館施設（部屋）の利用頻度

問 18-1、18-2 で参加したことがある、利用したことがあると答えた方のみ利用頻度をたずねたところ「年に数回」が 73.5%と最も多く、以下「月に数回」が 14.9%、「週に数回」が 2.0%であった。

問18-3:地区公民館施設(部屋)の利用頻度(SA)

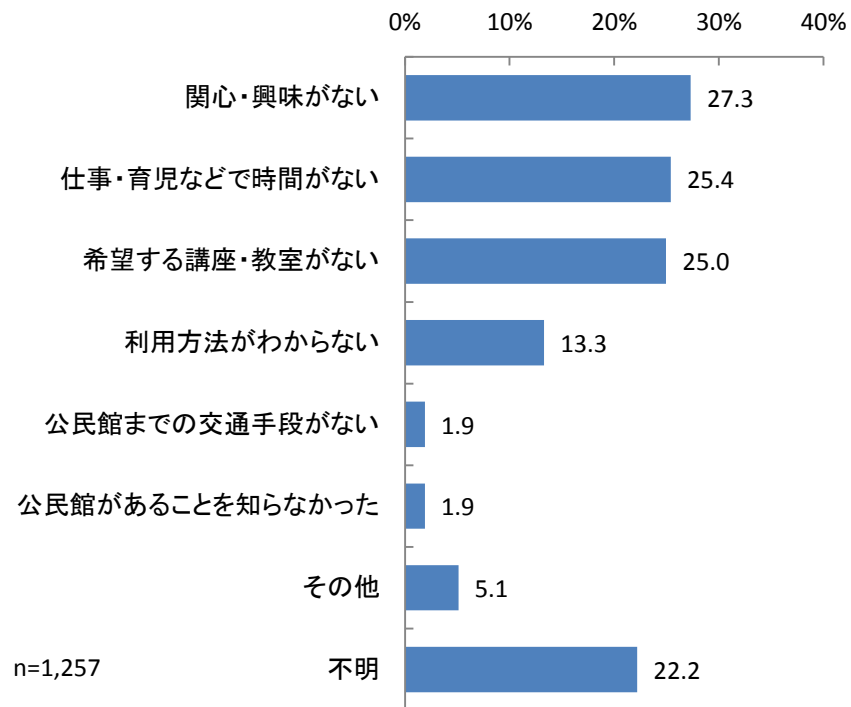


カテゴリ	件	%
週に数回	17	2.0%
月に数回	124	14.9%
年に数回	611	73.5%
不明	79	9.5%
計	831	100.0%

#### ④ 地区公民館事業に参加しない・地区公民館施設（部屋）を利用しない理由

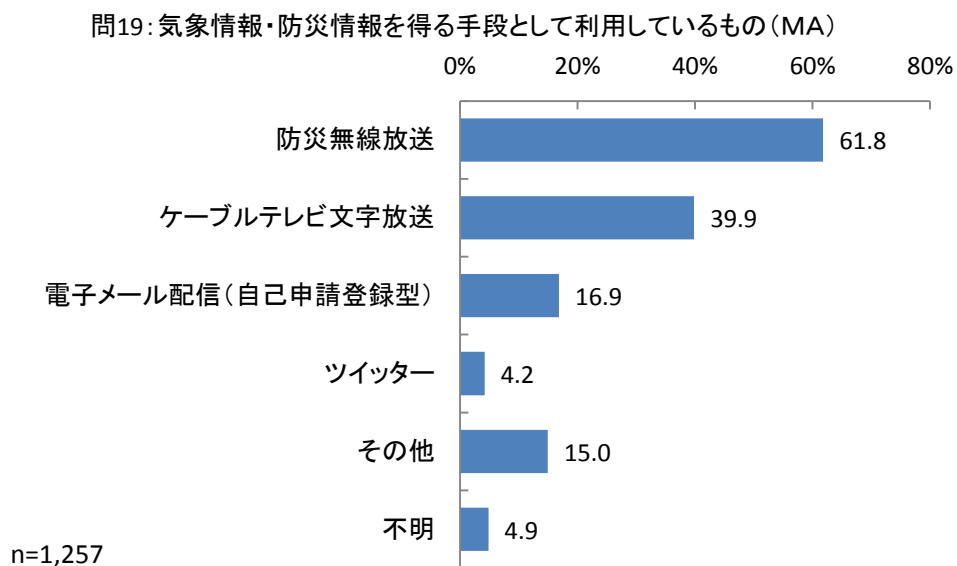
問 18-1、18 - 2 で参加したことがない、利用したことがないと答えた方のみ理由をたずねたところ「関心・興味がない」が 27.3%、「仕事・育児などで時間がない」が 25.4%、「希望する講座・教室がない」が 25.0%、「利用方法が分からない」が 13.3%であった。

問18-4:地区公民館事業に参加しない・地区公民館施設（部屋）を利用しない理由(MA)



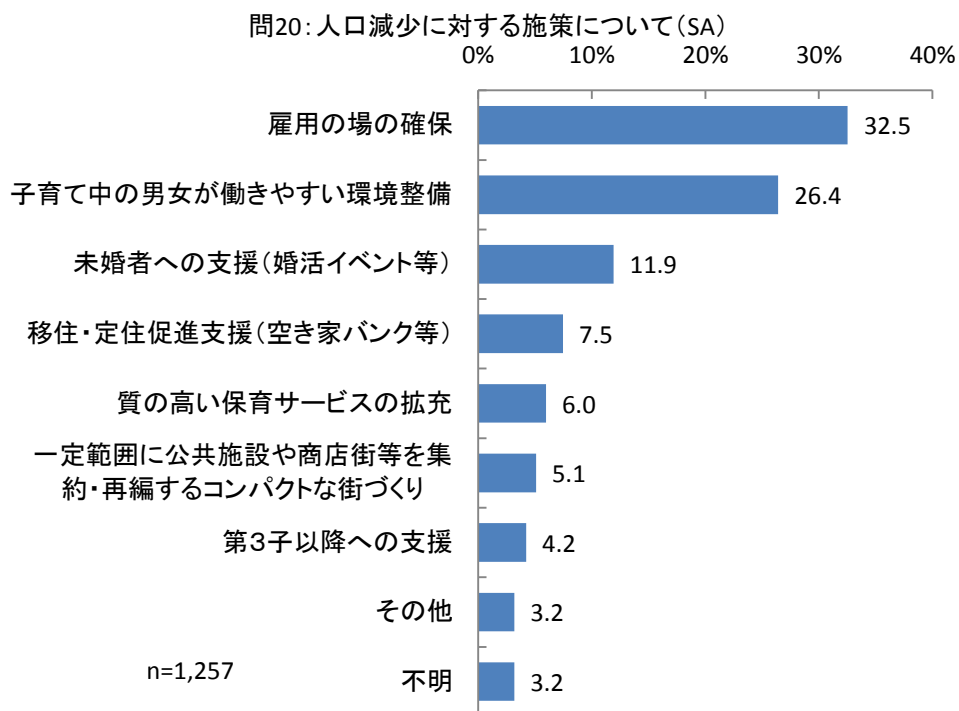
## 12. 防災について

気象情報・防災情報の入手手段をたずねたところ「防災無線放送」が61.8%と最も多く、以下「ケーブルテレビ文字放送」が39.9%、「電子メール配信（自己申請登録型）」が16.9%であった。



### 13. 人口減少に対する施策について

人口減少対策について必要な取り組みをたずねたところ「雇用の場の確保」が32.5%と最も多く、次いで「子育て中の男女が働きやすい環境整備」が26.4%となり、二項目で約60%を占めた。



## 山梨市住民意向調査

平成27年1月24日

実施機関：山梨市役所（政策秘書課）

- ◎ ご多忙のところお手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ◎ 今回、調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの20歳以上の方から2,000人を無作為に選ばせていただきました。
- ◎ ご回答の内容は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が明らかになることはありません。また、個別の調査結果を公表したり、他の目的に使用することは一切ございません。

### 《ご記入にあたってのお願い》

1. ご回答は、封筒の宛名の方ご本人が記入してください。ただし、本人が何らかの理由で記入出来ない場合は、ご家族の方が記入してください。
2. 本調査票には、当てはまる番号や回答欄に○印を付けるものと、具体的な内容を記述していただくものがあります。  
設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりと記入してください。
3. ご回答いただいた本調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、  
平成27年2月9日(月)までに 投函してください。  
※ 市役所政策秘書課又は牧丘・三富支所の総務担当窓口にて、直接提出いただくこともできます。
4. 本調査の趣旨や記入方法などについてご不明の点がございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

#### 調査に関する問い合わせ先

山梨市役所 政策秘書課 政策形成担当（担当：岡）

〒405-8501 山梨市小原西843 電話 0553-22-1111（内線2415）

- 最初に、あなたご自身のことについておたずねします。  
すべての項目について、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

①あなたの性別は

1. 男	2. 女
------	------

②あなたの年齢は（平成27年2月1日現在）

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上

③あなたのお住まいは

1. 加納岩地区	2. 日下部地区	3. 八幡地区	4. 山梨地区
5. 日川地区	6. 後屋敷地区	7. 岩手地区	8. 諏訪地区
9. 中牧地区	10. 西保地区	11. 三富地区	

④あなたは、山梨市内（旧3市町村を含めて）に住んで通算何年になりますか。

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上30年未満	6. 30年以上

⑤あなたの家族構成は

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯（親・子）	4. 三世帯（親・子・孫）
5. その他（ ）			

⑥あなたの職業は（兼業の方は主な職業についてお答えください。）

1. 自営業（農林水産業）	2. 自営業（商工業・サービス業・建設業等）		
3. 自由業（医師・弁護士・税理士・僧侶等）	4. 会社員	5. 公務員・団体職員	
6. パート・アルバイト・内職	7. 学生	8. 専業主婦・主夫	9. 無職
10. その他（具体的に： ）			

⑦「専業主婦・主夫」「無職」以外の方におたずねします。あなたの職場や通学先を下記から選び○印で囲んでください。

※「⑥職業」で「農業」と答えた方は主な農地の所在地を回答してください。

1. 山梨市内	2. 甲府市	3. 笛吹市	4. 甲州市
5. その他の山梨県内（国中地域）	6. その他の山梨県内（郡内地域）		
7. その他（具体的に： ）			

■ 山梨市の魅力や、住みやすさについておたずねします。

問1 あなたが感じている“山梨市の魅力”にはどのようなものがありますか。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをどちらか選び○印で囲んでください。

1. 山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている	はい	いいえ
2. 身近な街並みや住環境がきれいである	はい	いいえ
3. 住民同士の交流や助け合いが盛んである	はい	いいえ
4. 歴史・文化の資源が豊富にある	はい	いいえ
5. 果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている	はい	いいえ
6. 自動車交通の便が良い	はい	いいえ
7. バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い	はい	いいえ
8. 災害への備えに不安がない	はい	いいえ
9. 日常の買物などの便が良い	はい	いいえ
10. スポーツ活動が盛んである	はい	いいえ
11. 公園などの余暇施設が充実している	はい	いいえ
12. 高度な技術を持つ企業が立地している	はい	いいえ
13. 道路や上下水道などの社会基盤が整っている	はい	いいえ
14. 伝統芸能や祭事が受け継がれている	はい	いいえ
15. 学校教育や生涯学習などの環境が整っている	はい	いいえ

問2 あなたは、山梨市の“住みやすさ”についてどう思いますか。あてはまる番号を1つ選び○印で囲んでください。

1. 住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい	4. 住みにくい

問3 あなたは、山梨市に対する愛着を感じていますか。あてはまる番号を1つ選び○印で囲んでください。

1. とても感じる	2. やや感じる
3. あまり感じない	4. まったく感じない



■ 山梨市の主な施策に対する満足度、今後の施策の重要度についておたずねします。

問4 市の施策のうち次の26項目について、あなたが感じている満足度、今後の重要度についておたずねします。すべての項目について、満足度と重要度それぞれ1つずつ○印で囲んでください。

項目	満足度				重要度			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	きわめて重要である	かなり重要である	まあ重要である	あまり重要ではない
1. 公園整備、環境の保全	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
2. 文化遺産の保存、地域文化の継承	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
3. ごみ処理・環境美化の推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
4. 保健・医療の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
5. 高齢者、障害者福祉の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
6. 子育て環境の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
7. 男女共同参画の推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
8. 地域特性のある農業・林業の振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
9. 魅力ある商工業の振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
10. 地域資源を生かした観光振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
11. 義務教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
12. 生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
13. 公共交通機関の充実（市営バス等）	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
14. 国道・県道など幹線道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
15. 身近な生活道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
16. 歩道等の整備、充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
17. 案内・誘導表示などサインの設置	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
18. 水道の安定供給	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
19. 下水道などの排水処理	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
20. 公営住宅や宅地の整備	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
21. 防災体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
22. 防犯体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
23. 開かれた行政の推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
24. 行財政運営の効率化	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
25. NPOなど市民活動の支援	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
26. 新エネルギーの推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D

■ 次に、山梨市の具体的取り組みについて、あなたのお考えをおたずねします。

問5 環境問題やエネルギー問題に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 環境保全のための健全な森林づくり	イ	ロ	ハ	ニ
2. マイバッグ運動やリユース食器の導入などによるごみの発生抑制	イ	ロ	ハ	ニ
3. ごみの分別の徹底などによるリサイクルの推進	イ	ロ	ハ	ニ
4. アイドリングストップや緑のカーテン設置など、省エネルギーの普及・啓発	イ	ロ	ハ	ニ
5. 企業における環境保全活動への支援	イ	ロ	ハ	ニ
6. 学校や地域における環境教育の推進	イ	ロ	ハ	ニ
7. 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進	イ	ロ	ハ	ニ
8. 太陽光・風力・小水力発電など新エネルギーの普及促進	イ	ロ	ハ	ニ
9. その他（具体的にご記入ください： _____）				

問6 山梨市の産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 農道や林道、水路整備など、農林業の基盤整備	イ	ロ	ハ	ニ
2. 農林業における担い手の育成	イ	ロ	ハ	ニ
3. 農林業における販売ルートの拡大	イ	ロ	ハ	ニ
4. 地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の推進	イ	ロ	ハ	ニ
5. 農業法人など、新たな農業経営形態の推進	イ	ロ	ハ	ニ
6. 既存商店街組織の充実・強化の支援	イ	ロ	ハ	ニ
7. 大型量販店など商業施設の誘致	イ	ロ	ハ	ニ
8. 新規企業・事務所誘致の推進	イ	ロ	ハ	ニ
9. 山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興	イ	ロ	ハ	ニ
10. 買い物弱者対策など、地域に密着した新しいサービスへの取り組み支援	イ	ロ	ハ	ニ
11. 都市住民との交流及び定住促進施策としての農地活用の促進	イ	ロ	ハ	ニ
12. その他（具体的にご記入ください： _____）				

問7 山梨市の観光を盛んにするため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で 囲んでください。

項 目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によっては必要である	必要でない
1. 観光農園やグリーンツーリズムなど、農林業との連携	イ	ロ	ハ	ニ
2. イベントやお祭りの充実	イ	ロ	ハ	ニ
3. 地域にある歴史・文化遺産の活用	イ	ロ	ハ	ニ
4. 近隣市などとの広域連携による観光ルートの設定	イ	ロ	ハ	ニ
5. 郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり	イ	ロ	ハ	ニ
6. 接客サービス向上など、おもてなし体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
7. 観光振興を視野に入れた幹線道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ
8. 観光情報の発信など、宣伝活動の推進	イ	ロ	ハ	ニ
9. その他（具体的にご記入ください： _____）				

問8 高齢化が進む社会に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 高齢者が参加できるスポーツの振興など健康増進事業の充実	イ	ロ	ハ	ニ
2. 高齢者が有する知識や経験を提供できる生涯学習活動の充実	イ	ロ	ハ	ニ
3. 高齢者の働く場の確保、就労あっせんなどの支援充実	イ	ロ	ハ	ニ
4. 高齢者向け相談体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
5. 寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実	イ	ロ	ハ	ニ
6. 老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備	イ	ロ	ハ	ニ
7. 市営バスなど公共交通機関の充実	イ	ロ	ハ	ニ
8. 段差解消など、公共施設や住宅におけるバリアフリー化の推進	イ	ロ	ハ	ニ
9. 高齢者を支援・介護するボランティアの育成	イ	ロ	ハ	ニ
10. 子どもたちとのふれあい事業など世代間交流の促進	イ	ロ	ハ	ニ
11. その他（具体的にご記入ください： _____）				

問9 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で 囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によっては必要である	必要でない
1. 育児休暇の実施・女性の（再）就職しやすい環境づくり	イ	ロ	ハ	ニ
2. 未満児保育、延長保育や学童クラブなど、保育サービスの充実	イ	ロ	ハ	ニ
3. 小児科や産婦人科など医療体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
4. 公園など子どもを安心して遊ばせることができる環境の整備	イ	ロ	ハ	ニ
5. 登下校時における見守りや交通事故防止などの安全対策	イ	ロ	ハ	ニ
6. 育児に関する相談体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ
7. 育児を支援するボランティアの育成	イ	ロ	ハ	ニ
8. その他（具体的にご記入ください：	）			

問10 災害に強いまちづくりを推進するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で 囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 地域の自主防災組織の育成・強化	イ	ロ	ハ	ニ
2. 避難所や避難経路の周知・整備	イ	ロ	ハ	ニ
3. 耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善	イ	ロ	ハ	ニ
4. 防災情報の伝達体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
5. 給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄	イ	ロ	ハ	ニ
6. 消火栓や防火水槽、用水路の整備	イ	ロ	ハ	ニ
7. 市民参加による防災訓練の実施	イ	ロ	ハ	ニ
8. 消防団員の育成・確保	イ	ロ	ハ	ニ
9. 救命救急・搬送体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
10. 緊急輸送路の確保・整備	イ	ロ	ハ	ニ
11. その他（具体的にご記入ください： _____）				

問11 学校教育・生涯学習の分野で、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によっては必要である	必要でない
1. 学力向上の推進	イ	ロ	ハ	ニ
2. 国際理解教育や情報教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
3. 情操教育や道徳教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
4. ボランティアなど、体験的・実践的な学習の推進	イ	ロ	ハ	ニ
5. 家庭や地域との連携	イ	ロ	ハ	ニ
6. 教職員の資質向上など、教育指導体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ
7. 障害児教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
8. 学校における食育の推進	イ	ロ	ハ	ニ
9. 指導者の確保・育成	イ	ロ	ハ	ニ
10. 図書館や公民館、文化・スポーツ施設など活動の場の整備充実	イ	ロ	ハ	ニ
11. 不登校やいじめ問題など、心の問題対策	イ	ロ	ハ	ニ
12. その他（具体的にご記入ください： _____）				



■ 市民と行政のあり方についておたずねします。

問12 道路や公共施設などの老朽化による維持補修費用や超高齢社会の到来による社会保障費など、今後の財政需要は自然増が予測されています。このような厳しい財政状況下において、行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係についてどのようにお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

	そう思う	そう 思わない	どちらとも いえない
1. 厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進めることが必要である	1	2	3
2. 既存の補助金や制度を見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである	1	2	3
3. 公共施設やサービスなどのコストに応じ、利用者が応分の負担をすべきである	1	2	3
4. 財政健全化のためであれば、行政サービスの見直しは仕方ない	1	2	3
5. 簡素で効率的な行政システムにするため、公共施設の民間委託や事務事業の民営化は必要である	1	2	3

■ 今後の公共施設のあり方についておたずねします。

問13 施設の老朽化に伴い、建替えや大規模な改修が必要となる時期が訪れます。また、歳入が大幅に減少することが予想されるなか、あなたは公共施設の整備を、今後どのように進めて行くべきだとお考えですか。次の中から1つを選び○印で囲んでください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共施設が不足しているから、新規建設を行う</li> <li>2. 現状の施設を維持し、同規模での建替えを進めて行く</li> <li>3. 適正な施設の数や大きさを見直し、統廃合を行い不要な施設は減らしていく</li> <li>4. 公共施設は充足しているので、大幅に減らしていく</li> </ol> |
|--|

問14 今後、どのような公共的な活動に参加したいとお考えですか。

次の中からあなたのお考えに近いものをいくつでも選び番号を○印で囲んでください。

1. 地域で行う運動会や祭りなどの行事
2. 住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動
3. 災害時などのボランティアとしての救援活動
4. 高齢者や障害者への手助けや施設でのお手伝い
5. 地域で取り組む子育て支援
6. 自然保護などの環境保護活動
7. 文化財保護やスポーツなどの指導・協力
8. まちづくりへの提言や実践
9. その他（具体的にご記入ください： )

■ 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについておたずねします。

問15 山梨市が将来（10年後）、どのようなまちであって欲しいと思いますか。

次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選び番号を○印で囲んでください。

1. 自然環境と街並みが調和した住み良いまち
2. 保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち
3. 安心して子育てができるまち
4. 生活環境の整った安全で快適なまち
5. フルーツの香りあふれる農業のまち
6. 商業や流通など、経済活動が活発な賑わいのあるまち
7. 観光資源を生かした交流のあるまち
8. 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち
9. 地域における互助・協力が行われ、コミュニティが活性化するまち
10. その他（具体的にご記入ください： )

■ 第1次山梨市総合計画に示されている、まちづくりの指標等についておたずねします。

問16 次の項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況についておたずねします。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをどちらか選び○印で囲んでください。

1. 男女の地位が平等になっている	はい	いいえ
2. かかりつけ医がいる	はい	いいえ
3. スポーツ施設が利用しやすい	はい	いいえ
4. 市役所の窓口対応に満足している	はい	いいえ
5. 災害発生時の避難場所を知っている	はい	いいえ
6. フィールドミュージアム構想を知っている	はい	いいえ
7. 広報誌から市の有益な情報を得ている	はい	いいえ
8. CATVで放映している「お知らせ山梨市」を見ている	はい	いいえ
9. 市ホームページを利用している	はい	いいえ
10. 「食育」について内容を含めて知っている	はい	いいえ
11. 「食事バランスガイド」について内容を含めて知っている	はい	いいえ
12. 買い物をするとき、消費する日を見据えた中で食品表示（賞味期限・消費期限）を見る	はい	いいえ

■ 男女共同参画についておたずねします。

問17 次の項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況についておたずねします。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをどちらか選び○印で囲んでください。

1. 「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがある	はい	いいえ
2. * <u>ドメスティックバイオレンス</u> を受けたことがある	はい	いいえ
3. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と思う	はい	いいえ
4. 「地域」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ
5. 「家庭生活」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ
6. 「職場」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ
7. 「配偶者暴力防止法」を知っている	はい	いいえ
8. 平成 26 年度中に、育児休業を取得または取得見込みの男性が同じ世帯にいる	はい	いいえ
9. 「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」という言葉を聞いたことがある	はい	いいえ

※ドメスティックバイオレンス…夫婦・恋人同士など親しい間で、身体的・心理的暴力を受けること

■ 地区公民館を多くの方に利用していただくため利用状況をおたずねします。

問18-1 あなたは、「教室・講座」、「体育祭・公民館まつり」など地区公民館事業に参加したことがありますか。あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない

問18-2 あなたは、サークル活動や会議などで地区公民館施設（部屋）を利用したことがありますか。あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない

問18-3 問18-1で「1.参加したことがある」、問18-2で「1.利用したことがある」と答えた方に伺います。

地区公民館を、どのくらいの頻度で参加・利用していますか。あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 週に数回
2. 月に数回
3. 年に数回

問18-4 問18-1で「2.参加したことがない」、問18-2で「2.利用したことがない」と答えた方に伺います。参加・利用しない理由を下記から選び、あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 仕事・育児などで時間がない
2. 希望する講座・教室がない
3. 利用方法がわからない
4. 公民館までの交通手段がない
5. 関心・興味がない
6. 公民館があることを知らなかった
7. その他（具体的にご記入ください： )

■ 防災についておたずねします。

問19 気象情報・防災情報を得る手段として利用しているものはどれですか。あてはまる番号を○印で囲んでください。(複数回答可)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 防災無線放送</li><li>2. 電子メール配信 (自己申請登録型)</li><li>3. ツイッター</li><li>4. ケーブルテレビ文字放送</li><li>5. その他 (具体的にご記入ください: )</li></ol> |
|---|

■ 人口減少に対する施策についておたずねします。

問20 人口減少対策について、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。  
次の中からあなたのお考えに近いものを、いずれか1つを選び○印で囲んでください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 質の高い保育サービスの拡充</li><li>2. 子育て中の男女が働きやすい環境整備</li><li>3. 第3子以降への支援</li><li>4. 未婚者への支援 (婚活イベント等)</li><li>5. 雇用の場の確保</li><li>6. 移住・定住促進支援 (空き家バンク等)</li><li>7. 一定範囲に公共施設や商店街等を集約・再編するコンパクトな街づくり</li><li>8. その他 (具体的にご記入ください: )</li></ol> |
|--|

問21 山梨市のまちづくりや行政運営に関する意見や要望（自由記載）


問21-1 上記の意見・要望に関して、ご自身で「できること」「やってみたいこと」をお書きください。（自由記載）


調査は、以上です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

- この調査票は、同封の返信用封筒にそのまま入れ、  
2月9日(月)までに、ご投函くださいますようお願いいたします。  
(切手は不要です)
- 市役所政策秘書課又は牧丘・三富支所の総務担当窓口へ、  
直接提出いただくこともできます。